

第 3 章

再編の推進にあたって

1 こどもの学び・育ちの確保

再編を進めるにあたっては、園児にとってより良い保育環境を提供することを最優先事項と位置付けます。再編によって園児の成長発達に適した規模の集団をつくり、こどもたちへ多様な経験の場を提供することで、こどもたちの成長（自立心や社会性・協調性の育ち）を促し、「遊び」を通して創造的な「学び」につなぐ就学前教育の充実、一人ひとりに寄り添った保育の充実を図ります。

また、再編後も引き続き幼稚園・保育園・こども園・小学校がつながって、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を目指し、現時点で在籍している園児はなるべく現在の幼稚園・保育園で卒園できるよう、柔軟な対応を心がけていきます。

さらに、特別な配慮・支援を要する園児については、再編により移動面や教育・保育面において、不利益が生じないよう必要な対応策を講じていくこととします。

2 関係団体、保護者、地域との協働

再編の対象となる幼稚園・保育園の関係者や在籍する園児の保護者、地域との協議の場を設け、広く意見を聞くとともに、再編によって、園と地域との関係性に大きな影響が生じることも予想されることから、園が地域とともに子育てをする場であることに配慮しつつ、そのつながりが継続されるよう努めます。

3 社会情勢の変化への対応

本基本方針をとりまとめるにあたり、過去の人口動態や各幼稚園の利用率をもとに、将来の利用者数等の推計を行いました。例えば、現在、分譲が行われている「生駒緑ヶ丘こもれびテラス」や、壱分北部地区の宅地開発など、様々な外部要因が影響することにより、計画の見込みに変化が生じることが考えられます。そのため、今後は、各園の入園児数の推移や保護者ニーズ等を注視しながら、必要に応じて、再編の進め方を見直すなど、柔軟な対応を心がけていきます。

4 再編後の跡地利用について

再編による幼稚園等跡地及び施設の利活用については、地域と十分協議した上で、総合的に検討していくこととします。

5 再編スケジュール

あすか野幼稚園は、令和 11（2029）年度末を目途に再編または閉園、俵口・桜ヶ丘幼稚園及びひがし保育園については令和 12（2030）年度末で閉園し、令和 13（2031）年度から「（仮称）桜ヶ丘こども園」を開園する予定です。

また、なばた幼稚園については、令和 10（2028）年 4 月に分園を設定し、保育機能の充実を図っていく予定です。

表 3 - 1 再編スケジュール

		表 3-1 再編スケジュール						令和 7 年度時点
幼稚園	保育園・こども園	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	備考
生駒台幼稚園								
あすか野幼稚園								令和 11 年度末を目途に再編または閉園
俵口幼稚園								令和 12 年度末で閉園
桜ヶ丘幼稚園								令和 12 年度末で閉園
	ひがし保育園							令和 12 年度末で閉園
	(仮称) 桜ヶ丘こども園							開園予定（令和 13 年度）
	中保育園							
	認定こども園 生駒幼稚園							
なばた幼稚園								令和 10 年 4 月に分園（私）を敷地内開園
壱分幼稚園								令和 8 年度末で閉園
	(仮称) 壱分こども園							開園（令和 9 年度）
南幼稚園								
	みなみ保育園							
	小平尾保育園							

6 再編後の姿

(1) 公立幼稚園の再編後の編成

個別基本方針に基づく公立幼稚園の再編後は、以下の編成となります。

表 3 - 2 公立幼稚園再編後の編成

【公立幼稚園・保育園・認定こども園】

園名	種別	定員	備考
なばた幼稚園	幼稚園	未定	私立保育園の分園を敷地内に設置
生駒台幼稚園	幼稚園	259	
南幼稚園	幼稚園	100	
みなみ保育園	保育園	200	
小平尾保育園	保育園	88	
中保育園	保育園	255	
認定こども園生駒幼稚園	認定こども園	180	

【私立幼稚園・保育園・認定こども園】

園名	種別	定員	備考
白百合幼稚園	幼稚園	280	
奈良佐保短期大学附属 生駒幼稚園	幼稚園	220	
白庭台幼稚園	幼稚園	150	
いこま乳児保育園	保育園	75	
鹿ノ台佐保保育園	保育園	60	
あすかの保育園	保育園	90	
會津生駒保育園	保育園	69	
学研まゆみ保育園	保育園	120	
會津壱分保育園	保育園	110	
いこまこども園	認定こども園	290	1号 15名、2～3号 275名
たかやまこども園	認定こども園	282	1号 150名、2～3号 132名
生駒ピュアこども園	認定こども園	120	1号 15名、2～3号 105名
うみ保育園	認定こども園	102	1号 12名、2～3号 90名
ソフィア東生駒こども園	認定こども園	159	1号 10名、2～3号 149名（分園含む）
いちぶちどり保育園	認定こども園	115	1号 6名、2～3号 109名
もり保育園	認定こども園	132	1号 12名、2～3号 120名
はな保育園	認定こども園	165	1号 15名、2～3号 150名
(仮) 壱分こども園	認定こども園 (R9.4より)	160	現在の壱分幼稚園→単独こども園化
(仮) 桜ヶ丘こども園	認定こども園 (R13.4より)	未定	桜ヶ丘幼稚園・俵口幼稚園・ひがし保育園 統合

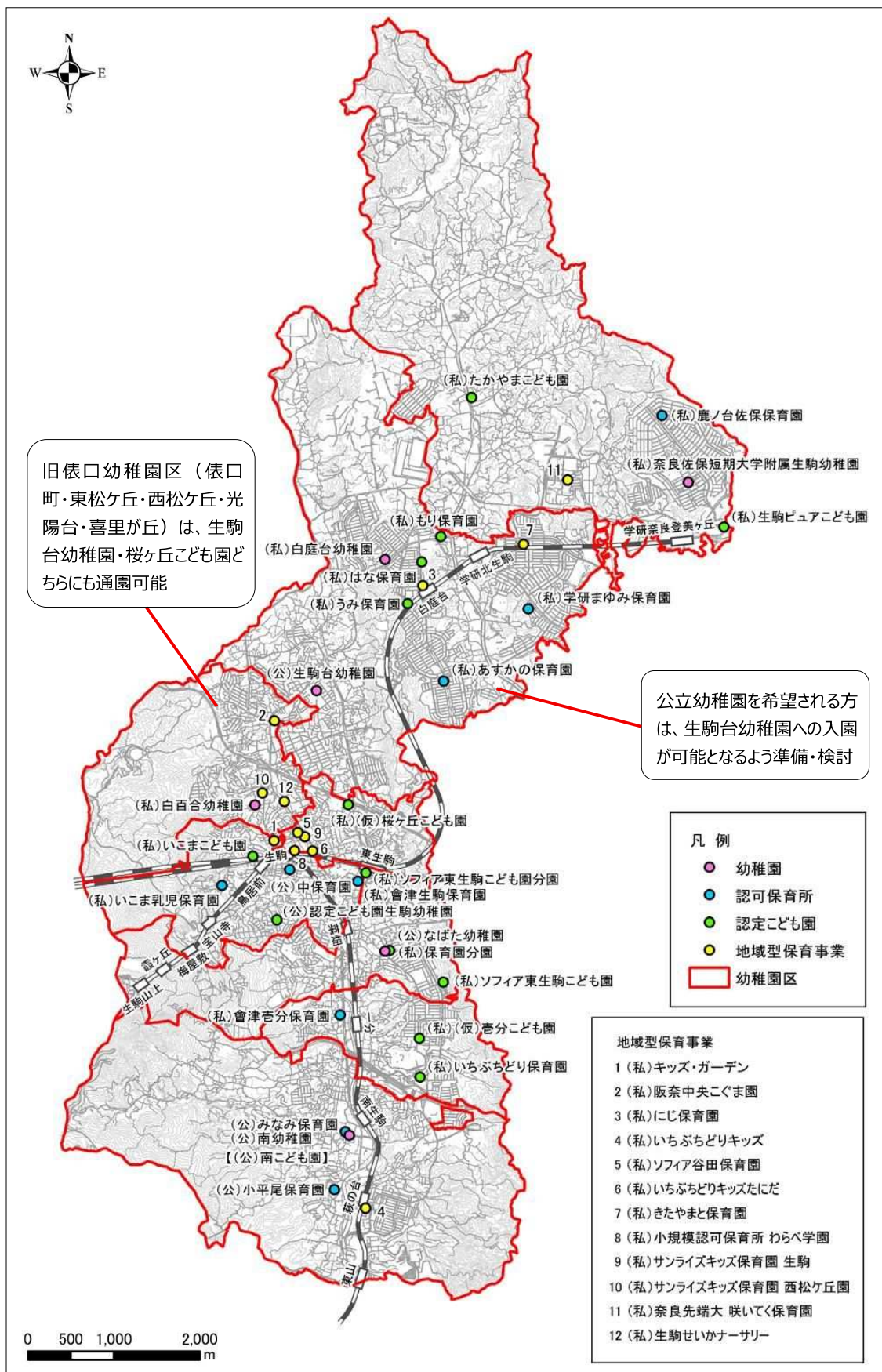


図 3 - 1 再編後の市内幼稚園・保育園位置図

(2) 再編後の通園区域等

再編後は以下のような通園区域となります。

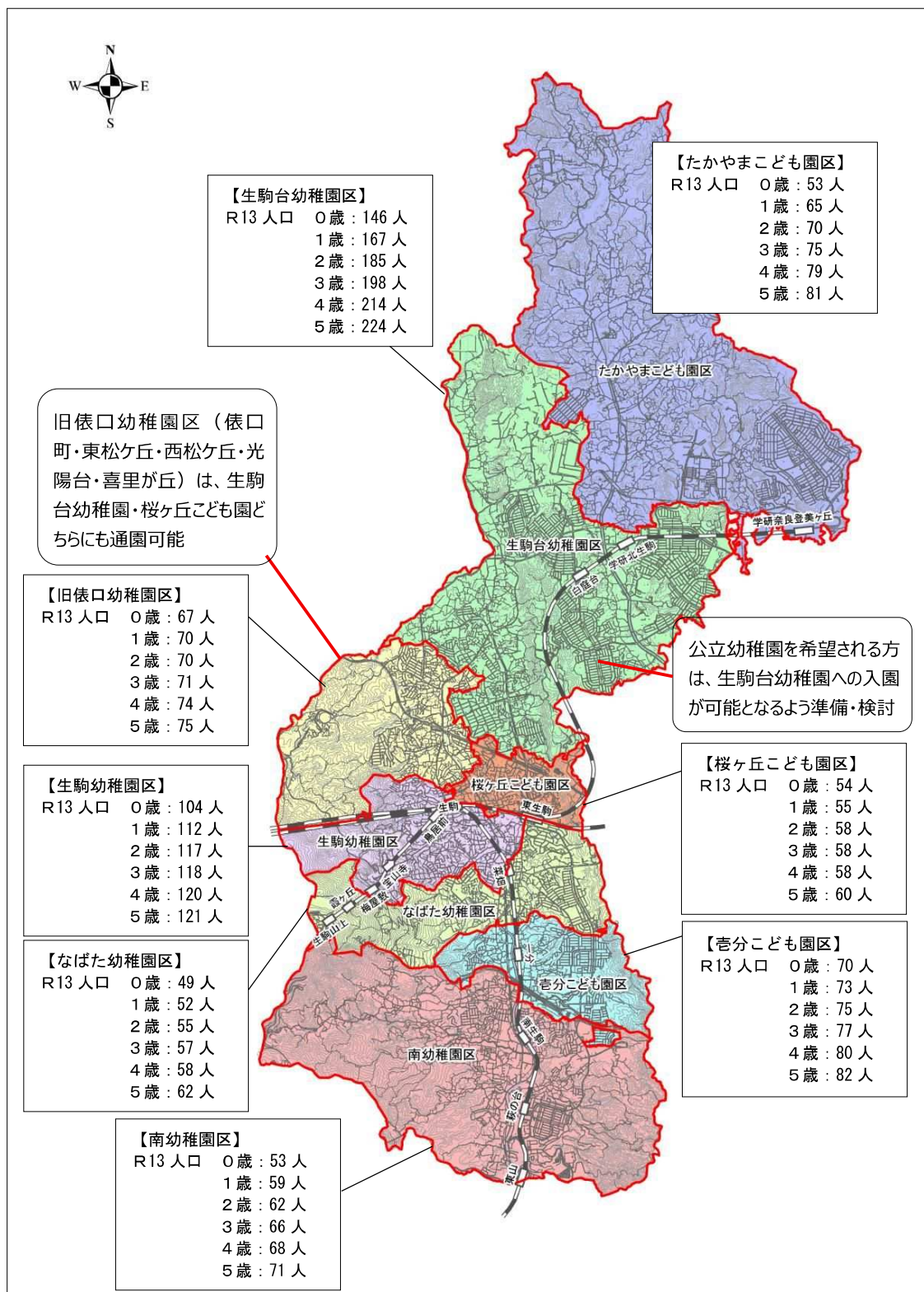


図3-2 再編後の本市の通園区域図

資料編

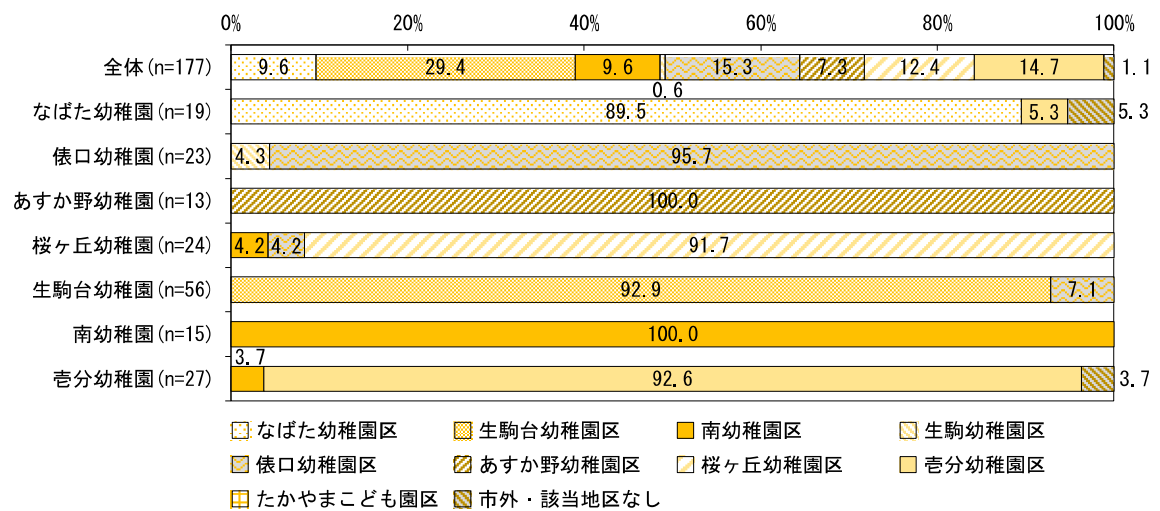
I 公立幼稚園園児保護者向けアンケート調査結果

お住まいの地域

お住まいの地域について、あすか野幼稚園、南幼稚園では、すべての園児（保護者）が同通園区域内に居住しており、その他の園においても概ね 90%以上が同通園区域に居住しています。

「市外・該当地区なし」は、なばた幼稚園で 5.3%、壱分幼稚園で 3.7%であり、全体では 1.1%となっています。

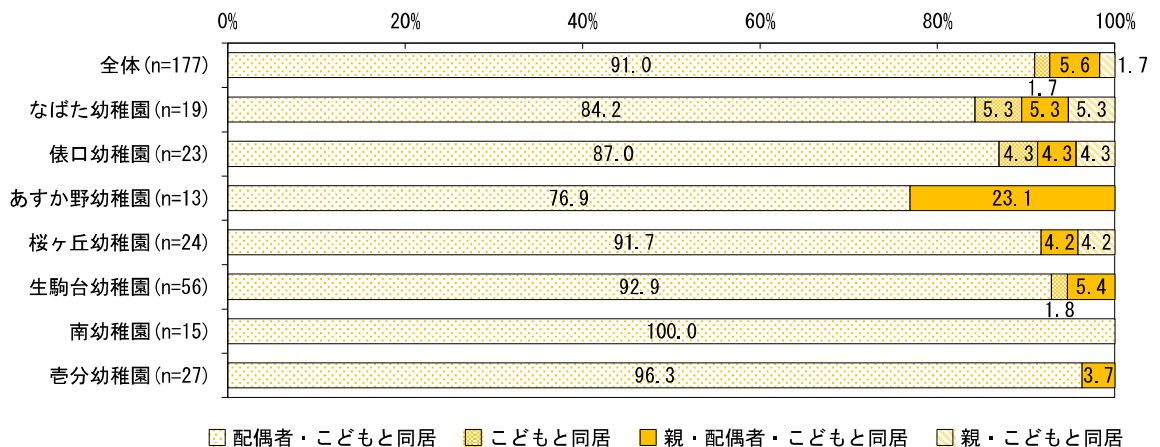
■ 園児（保護者）の居住地



家族構成

家族構成について、全体の 90%以上が「配偶者・子どもと同居」となっていますが、あすか野幼稚園では、その割合が 76.9%、となっており「親・配偶者・子どもと同居」の割合が他園よりも高くなっています。

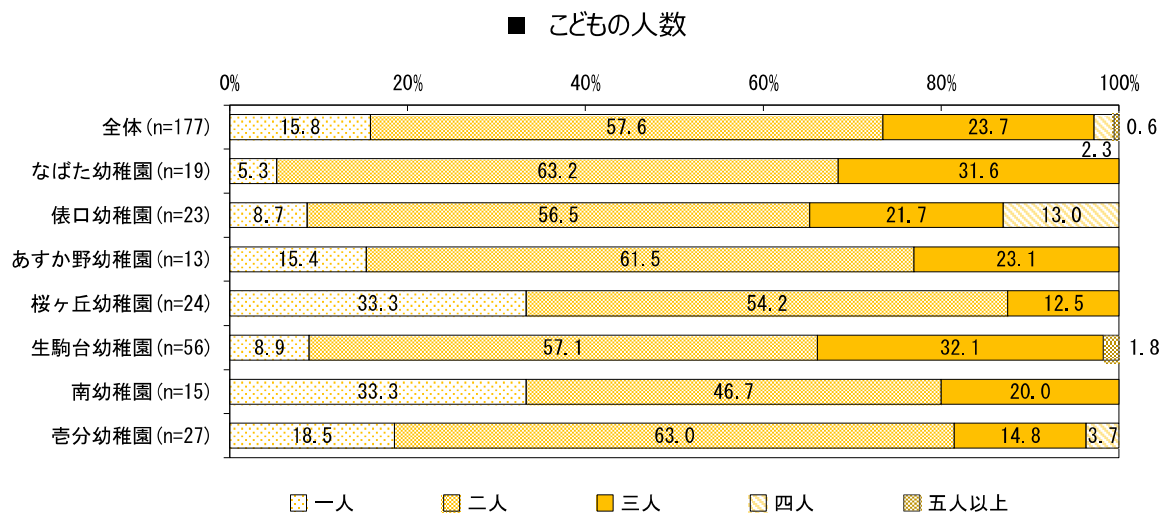
■ 家族構成



こどもの人数

こどもの人数について、全体では「二人」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「三人」の割合が 23.7%となっています。

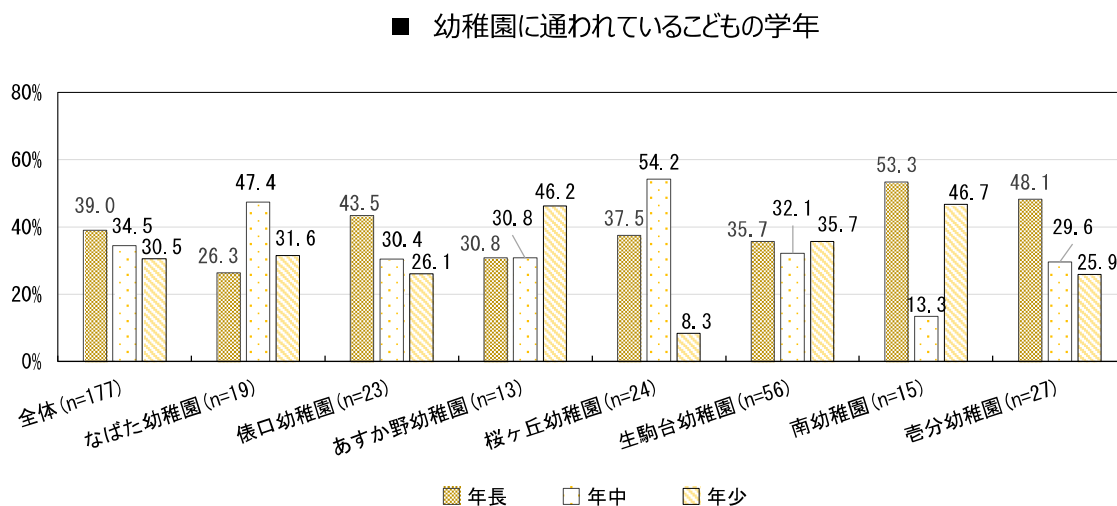
なばた幼稚園では全体と比べると「三人」の割合が高く「一人」の割合が低く、南幼稚園では「一人」の割合が高く「二人」の割合が低くなっています。



幼稚園に通うこどもの学年

こどもの学年について、全体では「年長」の割合が 39.0%と最も高く、「年中」の割合が 34.5%、「年少」の割合が 30.5%となっています。

あすか野幼稚園では「年少」の割合が、なばた幼稚園と桜ヶ丘幼稚園では「年中」の割合が、南幼稚園と壺分幼稚園では「年長」の割合が、全体と比べて高くなっています。

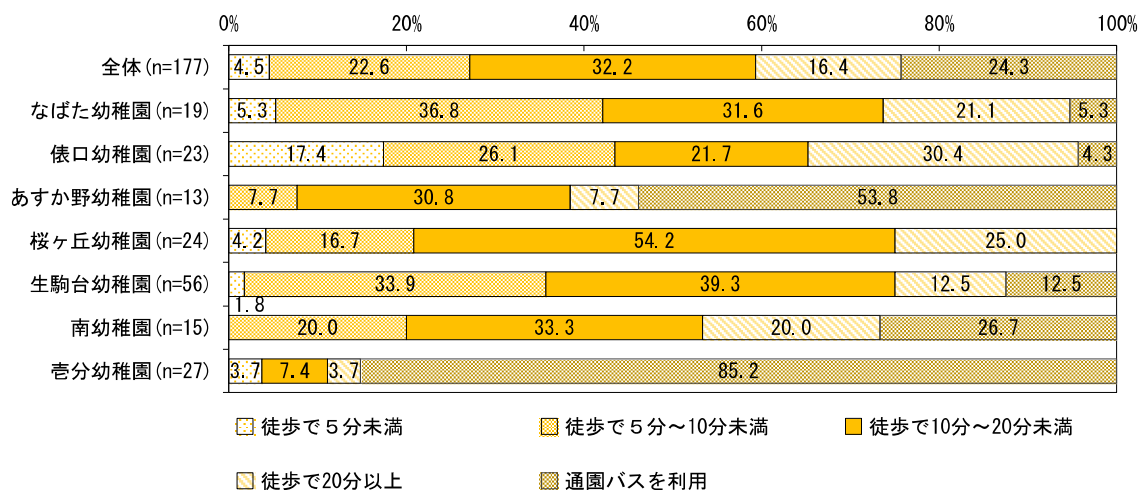


幼稚園への通園時間

通園時間について、全体では「徒歩で 10～20 分未満」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「通園バスを利用」の割合が 24.3%となっています。

あすか野幼稚園と壱分幼稚園では「通園バスを利用」の割合が、全体と比べて高くなっています。

■ 幼稚園への通園時間

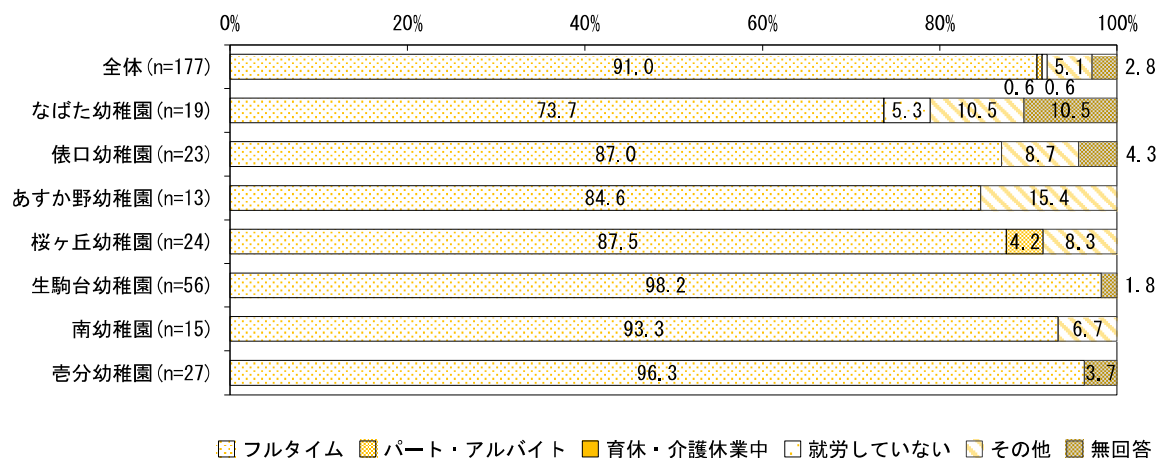


就労状況

父親の就労状況について、全体では「フルタイム」の割合が 91.0%、「その他」の割合が 5.1%、「パート・アルバイト」「育休・介護休業中」の割合が 0.6%となっています。

「フルタイム」の割合、生駒台幼稚園が 98.2%と最も高く、なばた幼稚園が 73.7%と最も低い水準となっています。

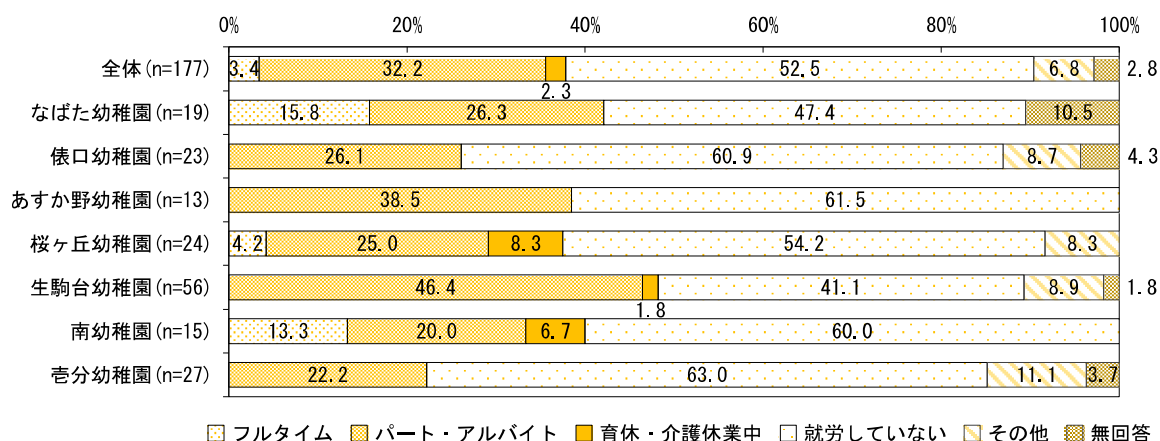
■ 就労状況（父親）



母親の就労状況について、全体では「就労していない」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 32.2%、「その他」の割合が 6.8%、「フルタイム」の割合が 3.4%、「育休・介護休業中」の割合が 2.3%の順となっています。

なばた幼稚園では「フルタイム」の割合が、生駒台幼稚園とあすか野幼稚園では「パート・アルバイト」の割合が、全体と比べて高くなっています。

■ 就労状況（母親）



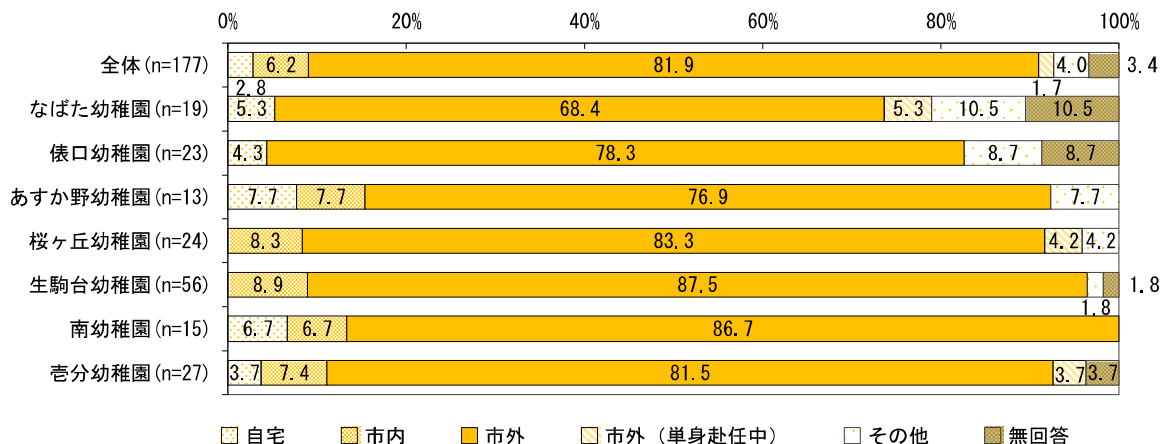
フルタイム パート・アルバイト 育休・介護休業中 就労していない その他 無回答

就労先

父親の就労先について、全体では「市外」の割合が 81.9%、「市内」の割合が 6.2%、「その他」の割合が 4.0%となっています。

幼稚園別でみると、「市外」での就労は生駒台幼稚園が 87.5%と最も高く、なばた幼稚園が 68.4%と最も低くなっています。また、「自宅」「市内」を合わせた『市内』で就労している方は、あすか野幼稚園が 15.4%と最も高くなっています。

■ 就労先（父親）

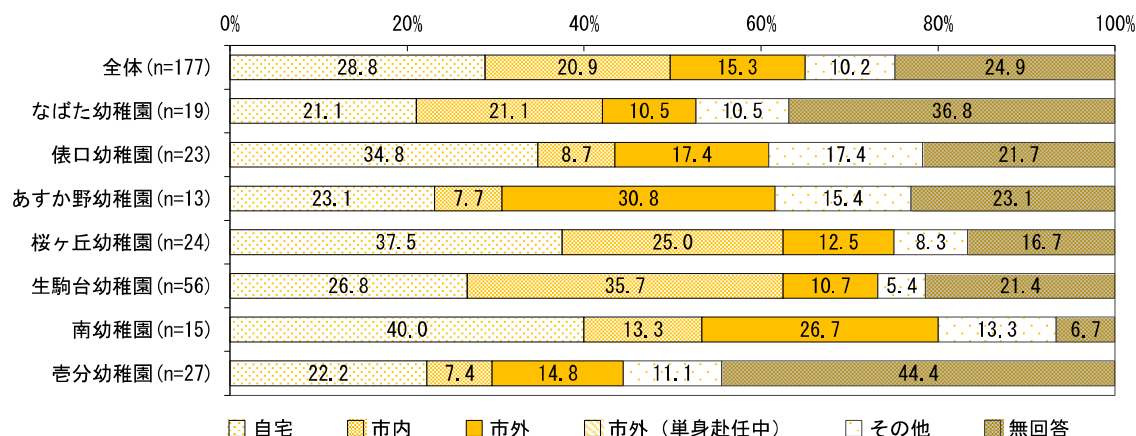


自宅 市内 市外 市外（単身赴任中） その他 無回答

母親の就労先について、全体では「自宅」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「市内」の割合が 20.9%、「市外」の割合が 15.3%となっています。

あすか野幼稚園と南幼稚園では「市外」の割合が、全体と比べて高くなっています。

■ 就労先（母親）



入園時に見学・検討した施設（※公立幼稚園以外）

入園前に見学・検討した公立幼稚園以外の施設について、全体では「特になし」の割合が 46.9%と最も高く、「私立幼稚園」の割合が 31.6%、「公立保育園」の割合が 20.9%、「公立認定こども園」の割合が 19.2%となっています。

幼稚園別でみると、桜ヶ丘幼稚園では「私立幼稚園」の割合が最も高い一方で、その他の園では「特になし」の割合が最も高くなっています。また、なばた幼稚園では「公立認定こども園」の割合が、あすか野幼稚園と生駒台幼稚園では「私立幼稚園」の割合が高くなっています。

■ 見学・検討した施設

	合計	私立幼稚園	公立保育園	私立保育園	公立認定こども園	私立認定こども園	特になし	その他
全体	177	31.6	20.9	6.2	19.2	7.9	46.9	1.1
なばた幼稚園	19	26.3	26.3	10.5	36.8	0.0	42.1	0.0
俵口幼稚園	23	21.7	17.4	0.0	17.4	0.0	60.9	0.0
あすか野幼稚園	13	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	38.5	7.7
桜ヶ丘幼稚園	24	41.7	37.5	0.0	16.7	4.2	29.2	4.2
生駒台幼稚園	56	33.9	21.4	8.9	14.3	14.3	48.2	0.0
南幼稚園	15	33.3	20.0	13.3	33.3	6.7	60.0	0.0
壱分幼稚園	27	29.6	3.7	0.0	18.5	11.1	48.1	0.0

※無回答は0人でした。

公立幼稚園を選んだ主な理由

公立幼稚園を選ぶ際に重視した点について、「自宅から近い」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「小学校と連携している」の割合が 42.9%、「金銭的負担が少ない」の割合が 33.3%、「兄弟や近所の知り合いの子が通っている」の割合が 22.6%となっています。

幼稚園別でみると、あすか野幼稚園では「自宅から近い」と「先生の対応が良い」の割合が、生駒台幼稚園では「小学校と連携している」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

■ 公立幼稚園を選んだ理由で重視した点

	合計	自宅から近い	金銭的負担が少ない	保育園に就園できなかった	兄弟や近所の知り合いの子が通っている	生活習慣が身につく	行事等による地域との交流がある	評判が良い
全体	177	62.7	33.3	9.6	22.6	4.5	6.8	3.4
なばた幼稚園	19	73.7	36.8	5.3	36.8	0.0	10.5	0.0
俵口幼稚園	23	60.9	39.1	8.7	17.4	4.3	8.7	4.3
あすか野幼稚園	13	53.8	23.1	0.0	23.1	15.4	0.0	15.4
桜ヶ丘幼稚園	24	62.5	33.3	12.5	25.0	4.2	4.2	4.2
生駒台幼稚園	56	57.1	23.2	8.9	23.2	1.8	5.4	3.6
南幼稚園	15	73.3	46.7	20.0	20.0	13.3	0.0	0.0
壱分幼稚園	27	66.7	44.4	11.1	14.8	3.7	14.8	0.0

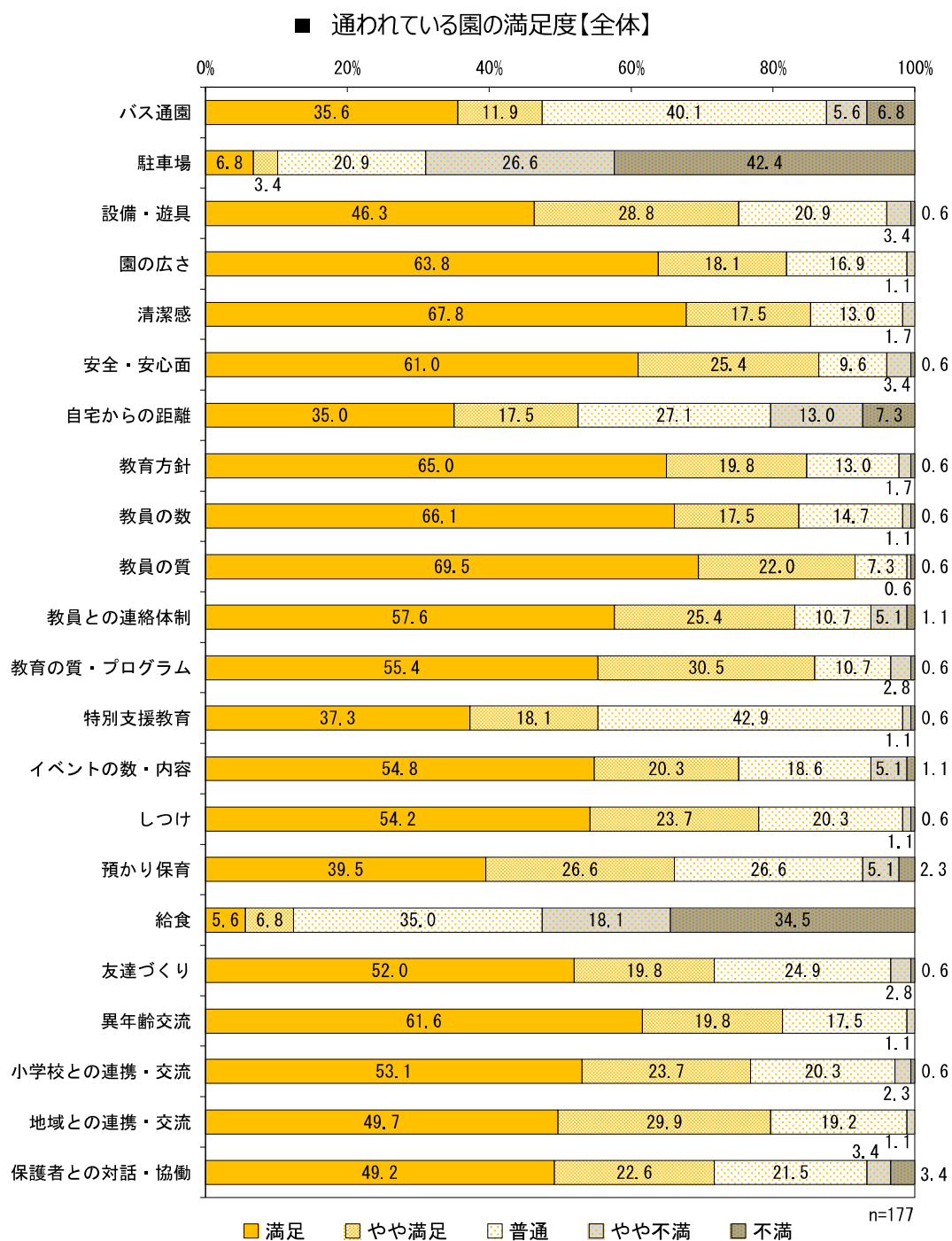
	合計	先生の対応が良い	保護者同士の関わりができる	保育内容・教育内容がよい	小学校と連携している	希望園に入園できる	特になし	その他
全体	177	19.8	4.0	15.3	42.9	3.4	2.3	4.5
なばた幼稚園	19	15.8	0.0	10.5	42.1	0.0	5.3	0.0
俵口幼稚園	23	17.4	0.0	13.0	47.8	8.7	4.3	0.0
あすか野幼稚園	13	53.8	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	23.1
桜ヶ丘幼稚園	24	8.3	8.3	25.0	37.5	0.0	4.2	8.3
生駒台幼稚園	56	25.0	7.1	14.3	67.9	3.6	0.0	1.8
南幼稚園	15	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0
壱分幼稚園	27	18.5	3.7	18.5	33.3	3.7	0.0	7.4

※無回答は0人でした。

こどもが通う園の現在の満足度・重要度

通われている園の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「教員の質」の割合が 91.5%と最も高く、次いで「安全・安心面」の割合が 86.4%、「清潔感」の割合が 85.3%と高くなっています。

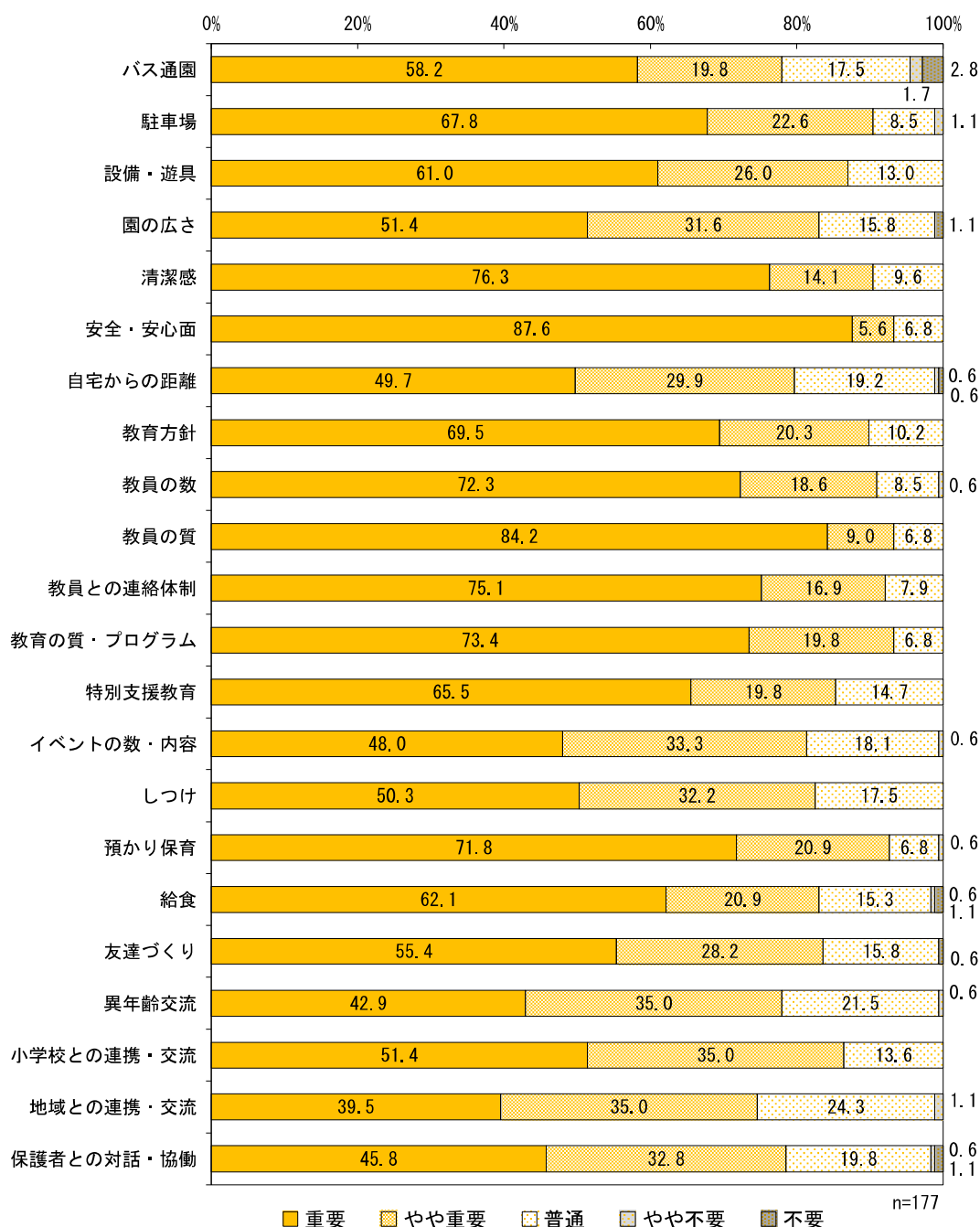
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「給食」の割合が 52.6%、「自宅からの距離」の割合が 20.3%となっています。



幼稚園の将来の持続的な運営を行うための重要度のうち「重要」（重要＋やや重要）について、「安全・安心面」「教員の質」「教育の質・プログラム」「預かり保育」の割合がいずれも 93.2%と最も高く、次いで「預かり保育」の割合が 92.7%となっています。

その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、いずれも 1 割に達しておらず、「バス通園」の割合が 4.5%と最も高くなっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度

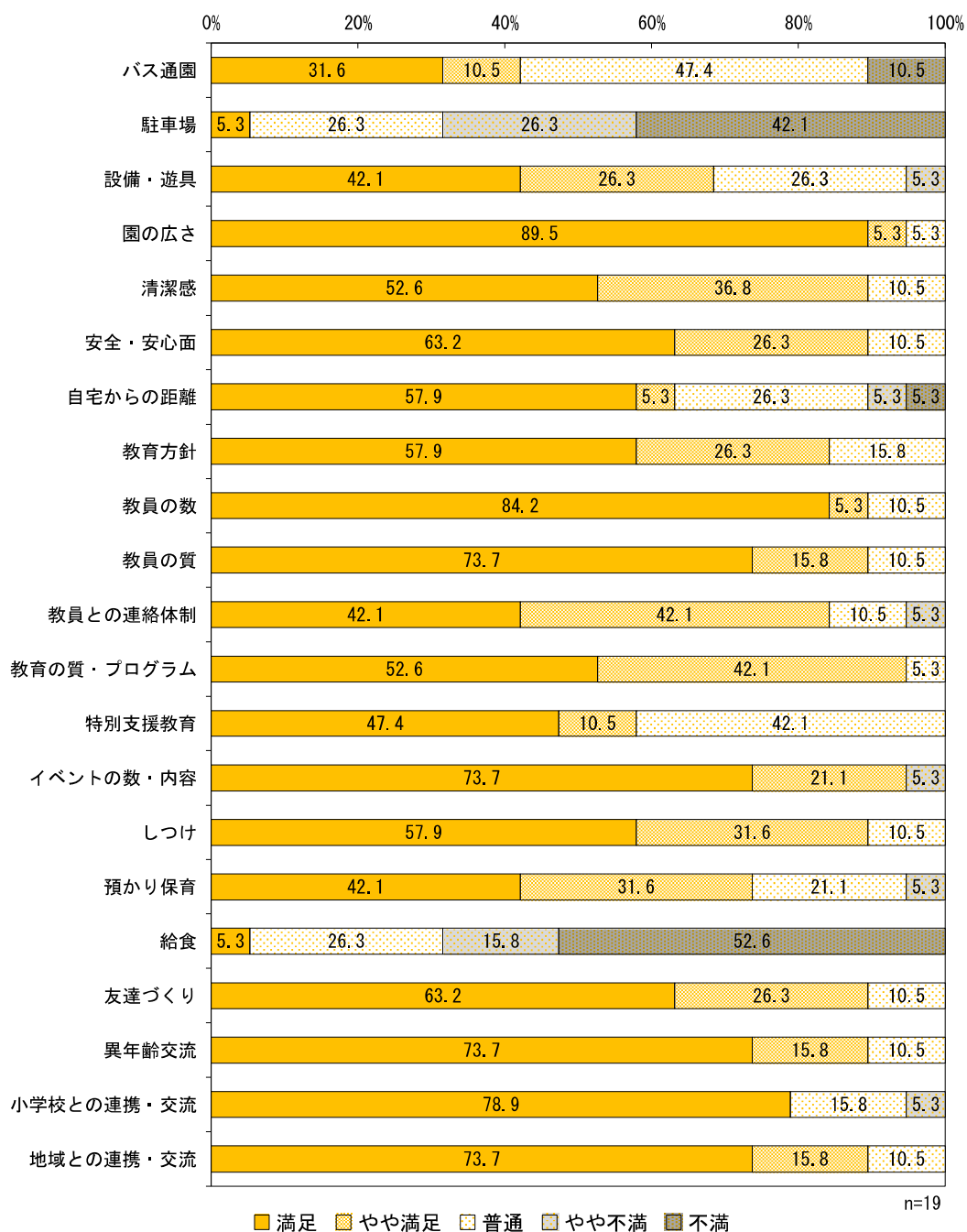


(1) なばた幼稚園

なばた幼稚園に通う児童の保護者の、現在の満足度については「満足」（満足＋やや満足）について、「園の広さ」「教育の質・プログラム」「イベントの数・内容」の割合が最も高くなっています。

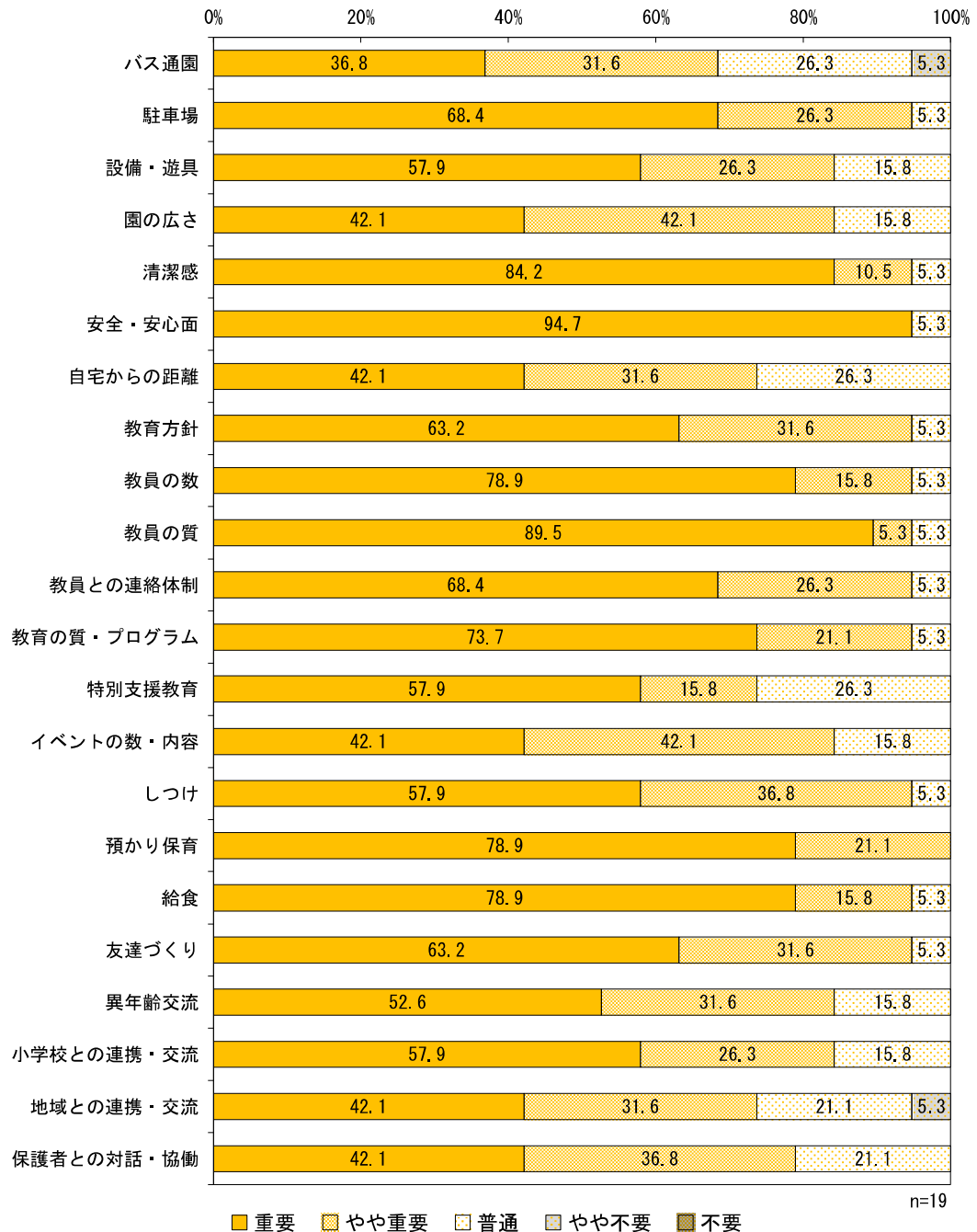
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」「給食」の割合が 68.4%と最も高くなっています。

■ 通われている園の満足度【なばた幼稚園】



なばた幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うための項目について、その重要度は、「重要」で「安全・安心面」の割合が 94.7%と最も高くなっており、「重要」（重要＋やや重要）で「預かり保育」の割合が 100.0%と最も高くなっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【なばた幼稚園】

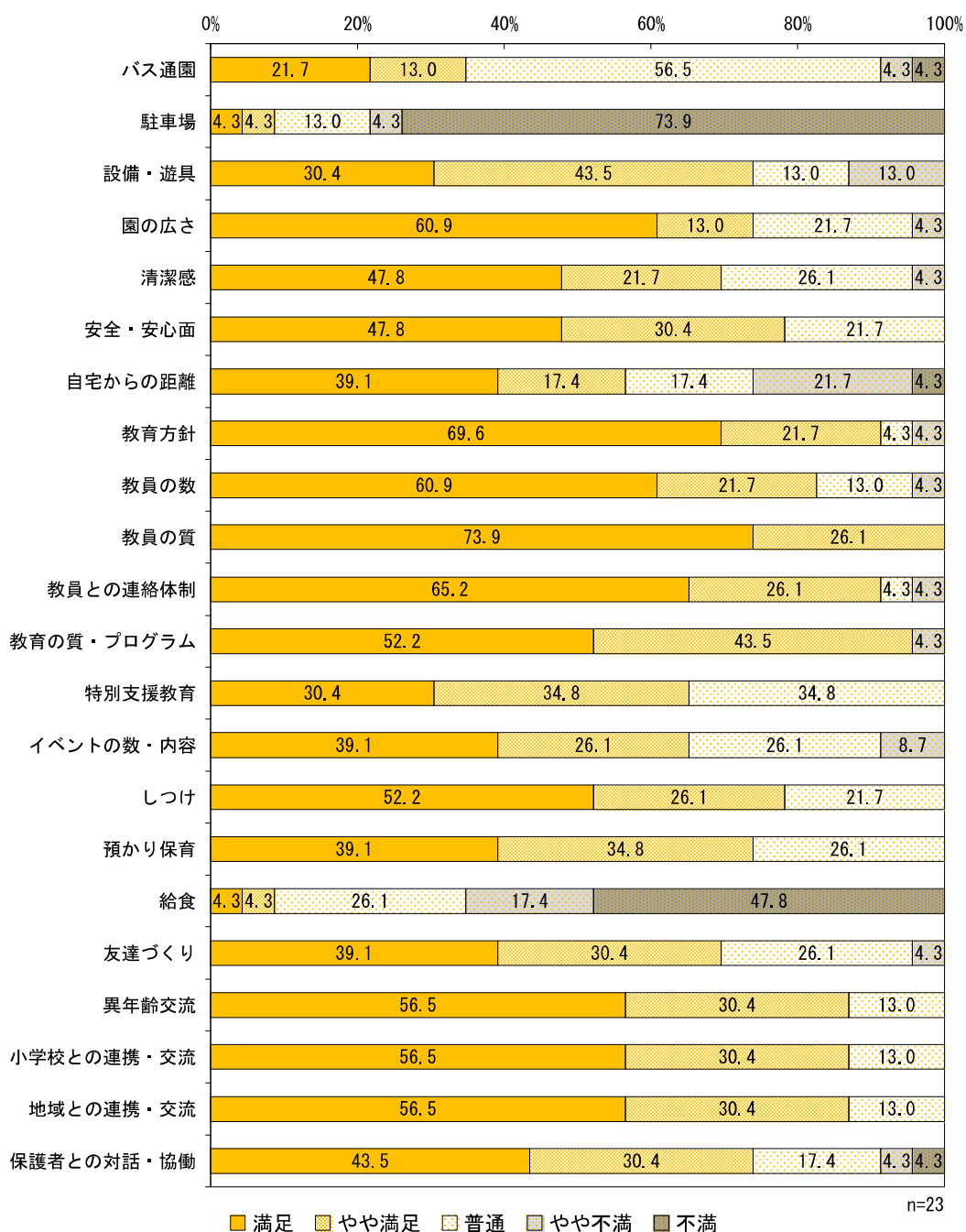


（２）俵口幼稚園

俵口幼稚園に通う保護者の現在の満足度については、「満足」（満足＋やや満足）のうち、「教員の質」の割合が 100.0%と最も高くなっており、次いで「教育の質・プログラム」の割合が 95.7%となっています。

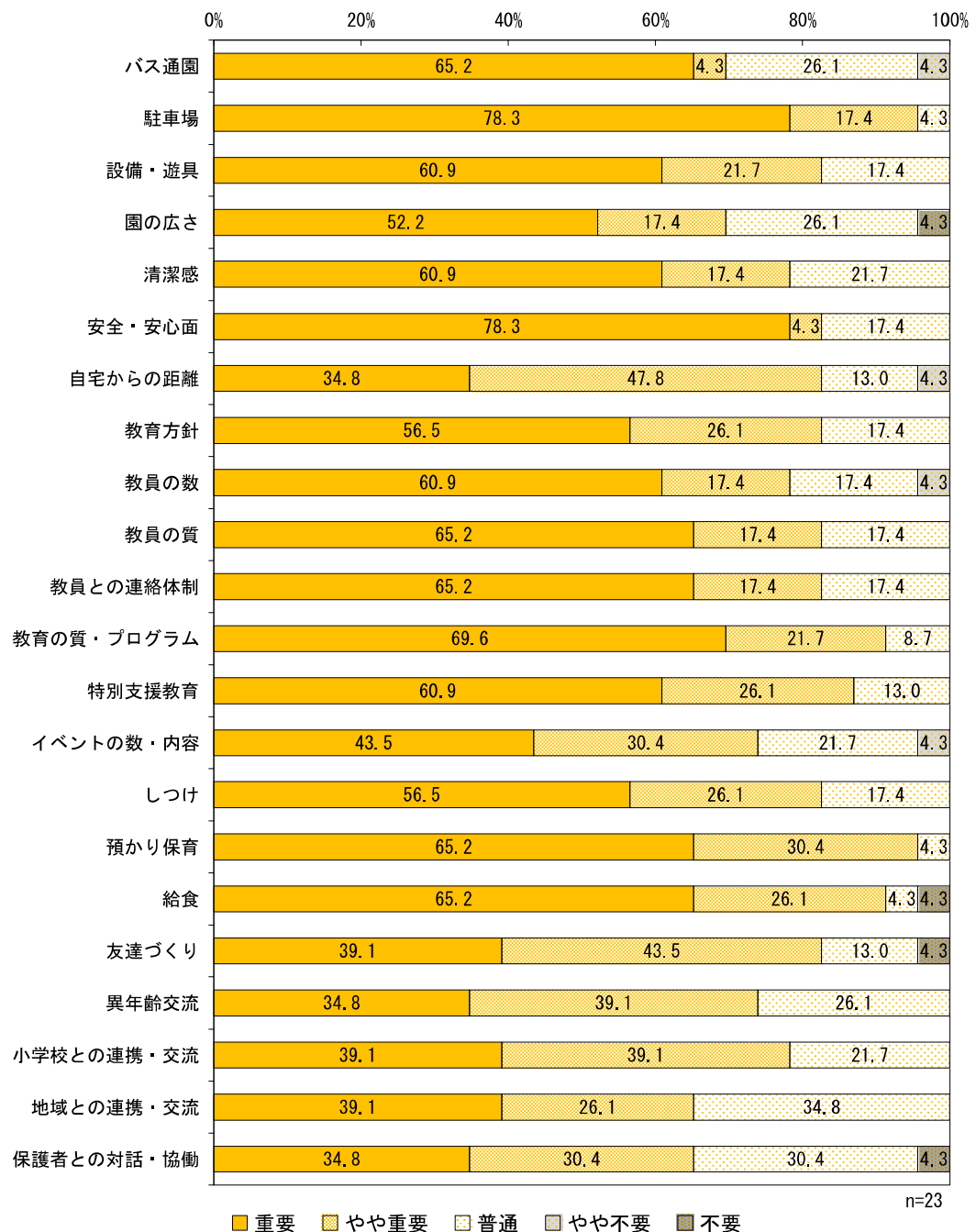
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が 78.2%と最も高く、次いで「給食」の割合が 65.2%、「自宅からの距離」の割合が 26.0%となっています。

■ 通われている園の満足度【俵口幼稚園】



俵口幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うための項目について、その重要度は、「重要」では「駐車場」「安全・安心面」の割合が 78.3%と最も高くなっており、「重要」（重要＋やや重要）では「駐車場」の割合が 95.7%、「預かり保育」の割合が 95.6%と高くなっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【俵口幼稚園】

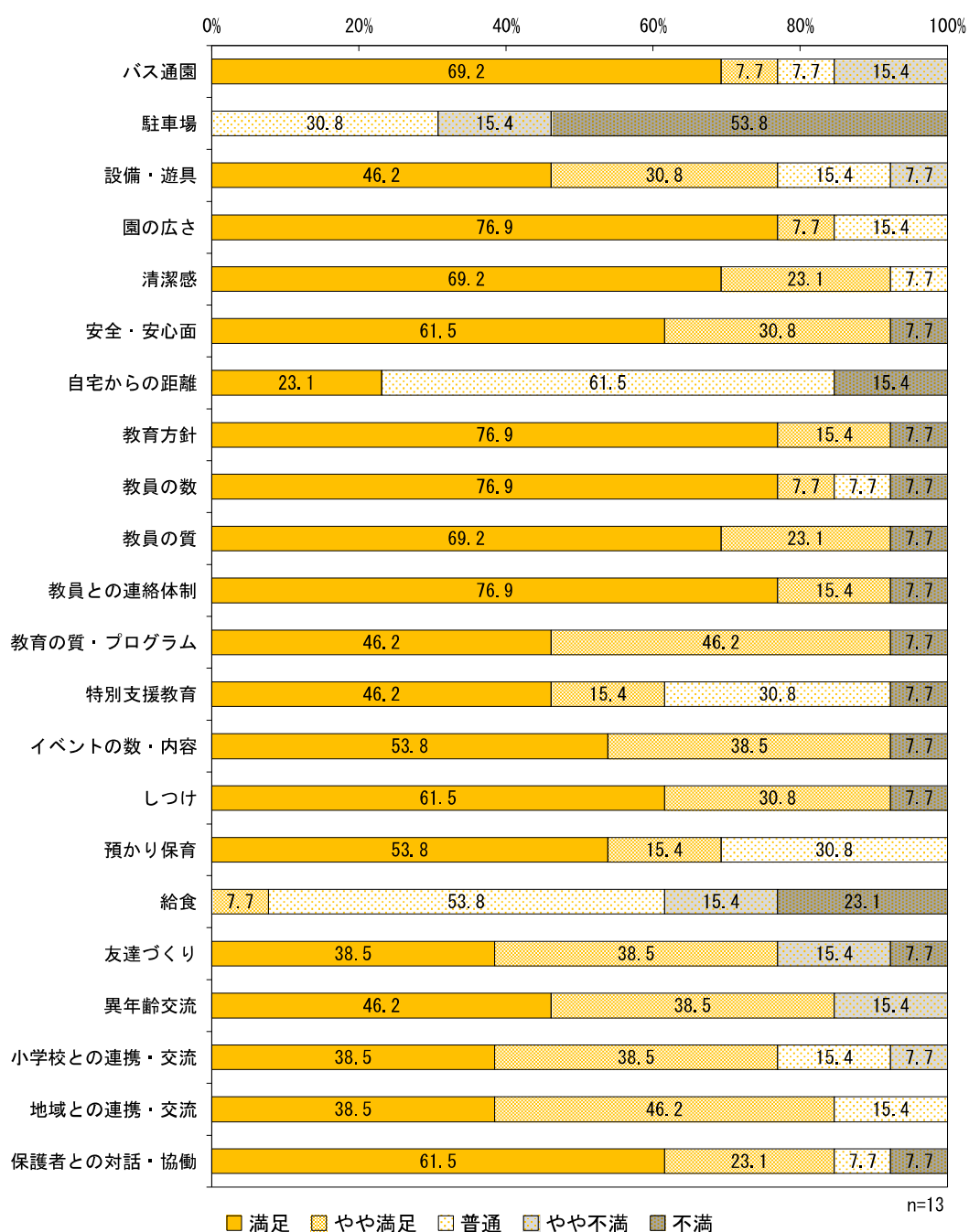


(3) あすか野幼稚園

あすか野幼稚園に通う児童の満足度は「満足」（満足＋やや満足）について、「清潔感」「安全・安心面」「教育方針」「教員の質」「教員との連絡体制」「教育の質・プログラム」「イベントの数・内容」「しつけ」の割合が最も高くなっています。

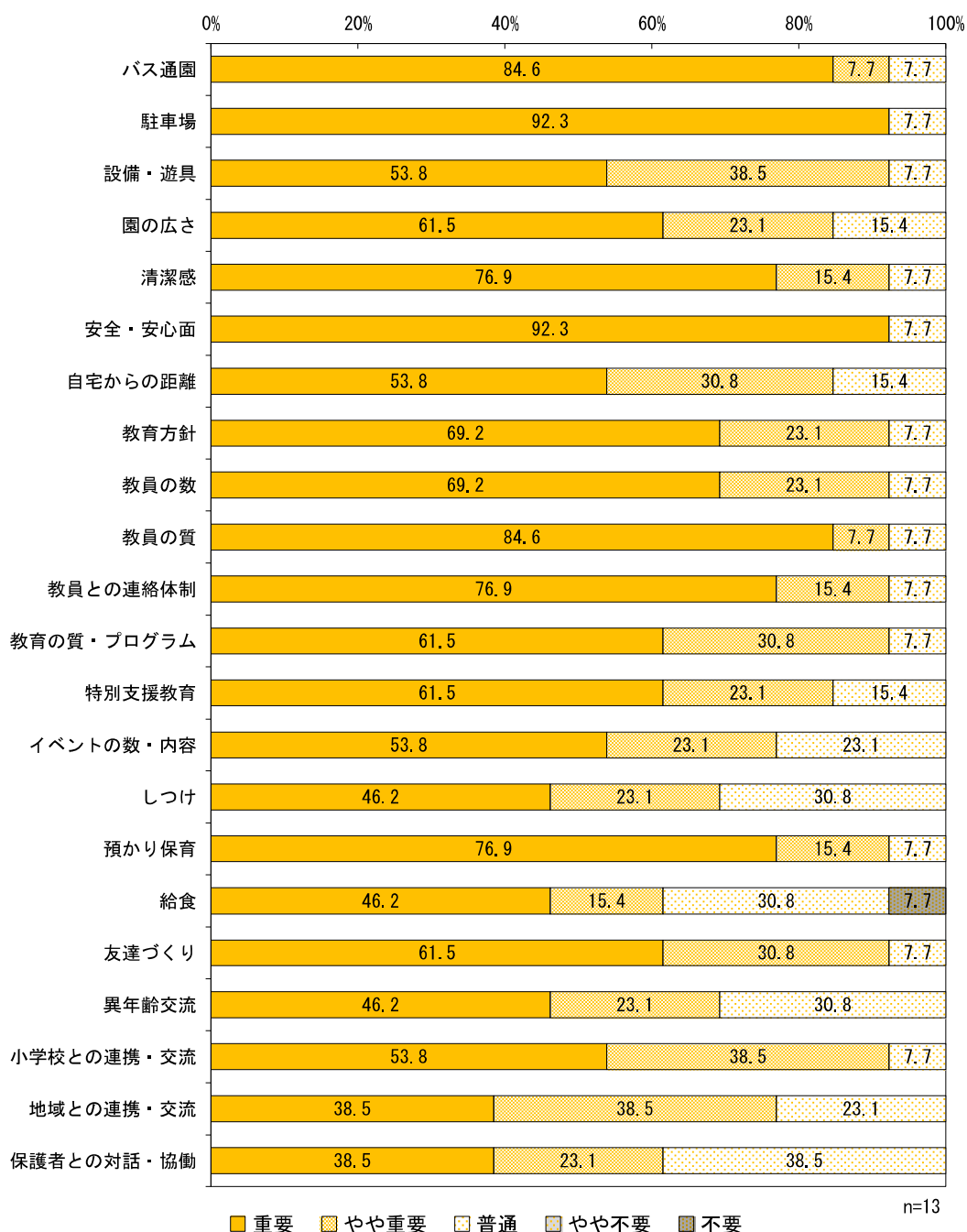
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「給食」の割合が 38.5%、「友達づくり」の割合が 23.1%となっています。

■ 通われている園の満足度【あすか野幼稚園】



あすか野幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うための重要な項目について、「重要」では「駐車場」「安全・安心面」の割合が 92.3%と最も高くなっており、次いで「バス通園」「教員の質」の割合が 84.6%となっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【あすか野幼稚園】

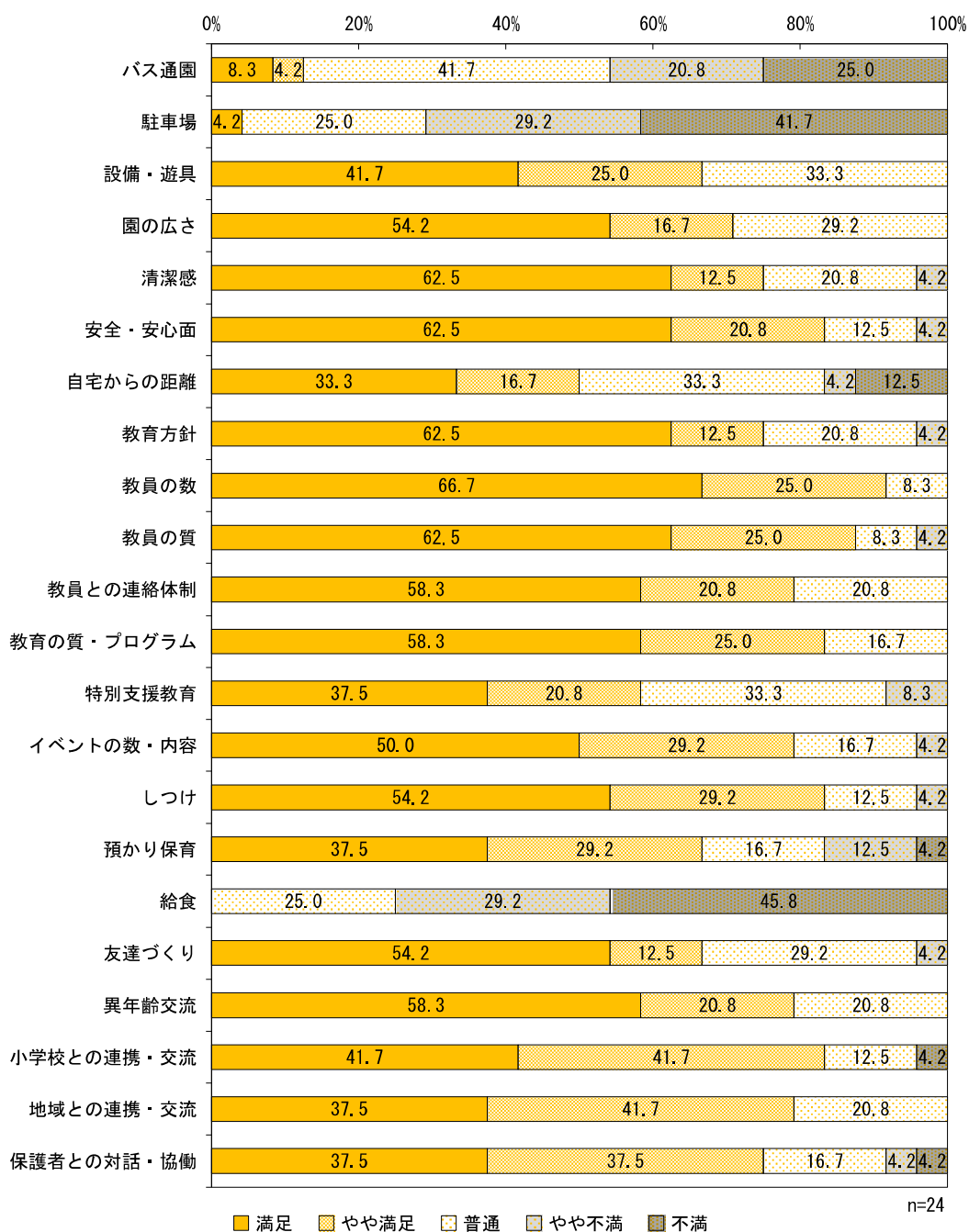


(4) 桜ヶ丘幼稚園

桜ヶ丘幼稚園に通う保護者の現在の満足度は「満足」（満足＋やや満足）について、「教員の数」の割合が91.7%と最も多く、次いで「教員の質」の割合が87.5%となっています。

その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「給食」の割合が75.0%と最も高く、次いで「駐車場」の割合が70.9%、「バス通園」の割合が45.8%となっています。

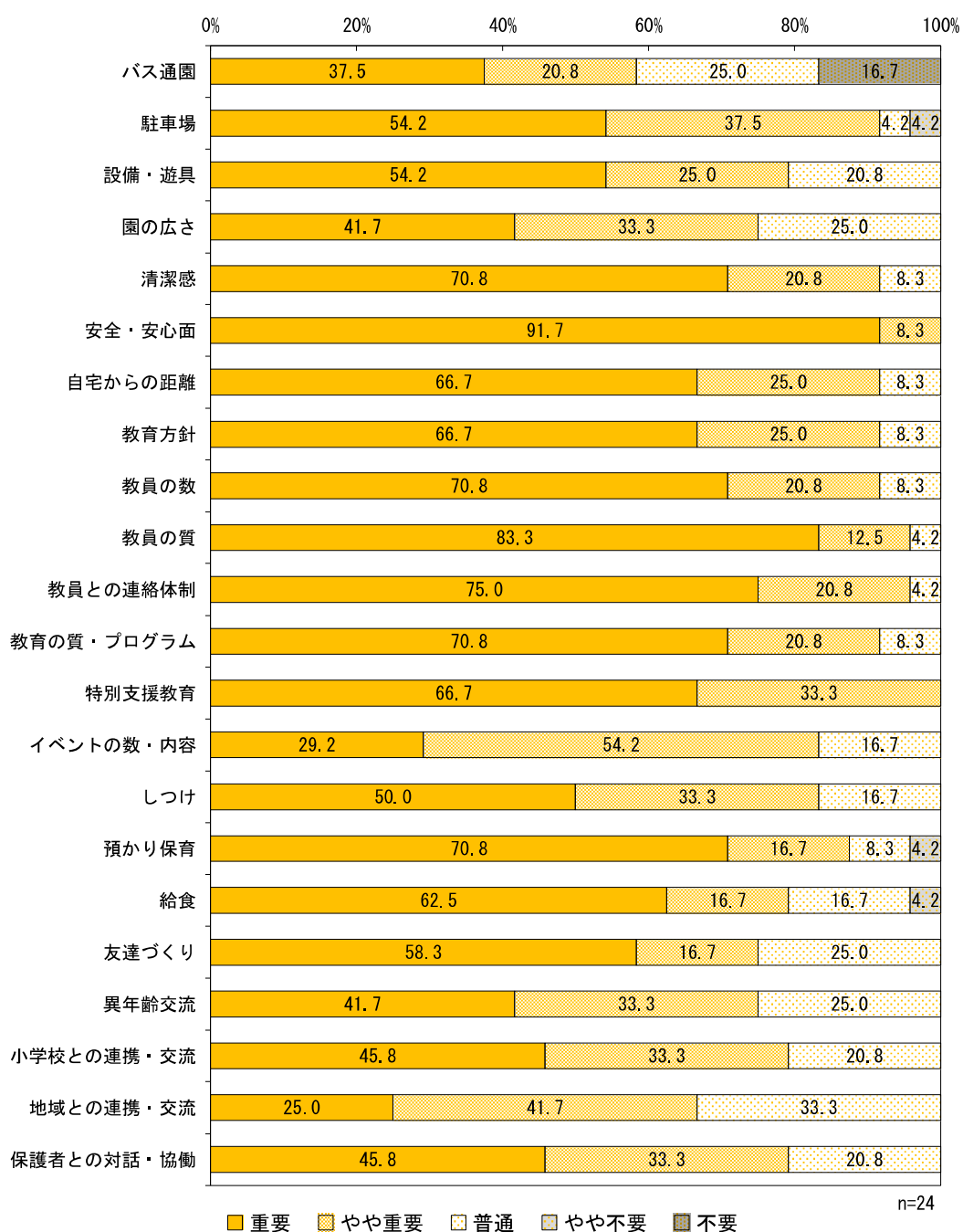
■ 通われている園の満足度【桜ヶ丘幼稚園】



桜ヶ丘幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うために重要な項目のうち、「重要」では、「安全・安心面」の割合が 91.7%と最も高く、次いで「教員の質」の割合が 83.3%となっています。また、「重要」（重要＋やや重要）では「安全・安心面」「特別支援教育」の割合が 100.0%と高くなっています。

その一方で「不要」（不要＋やや不要）については、「バス通園」の割合が 16.7%と最も高くなっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【桜ヶ丘幼稚園】

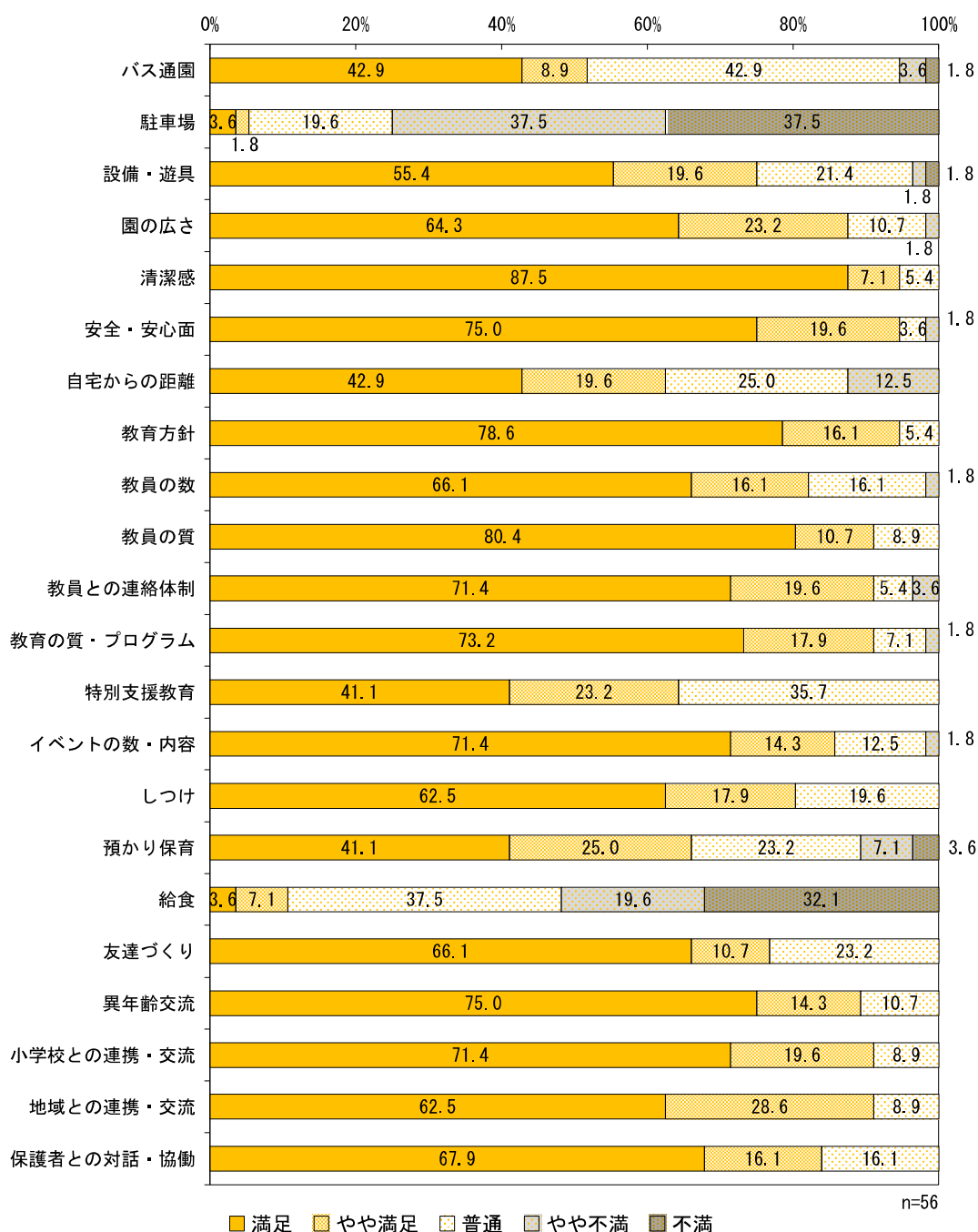


(5) 生駒台幼稚園

生駒台幼稚園に通う児童の現在の満足度は「満足」（満足＋やや満足）について、「清潔感」「安全・安心面」「教育方針」の割合が最も高くなっています。

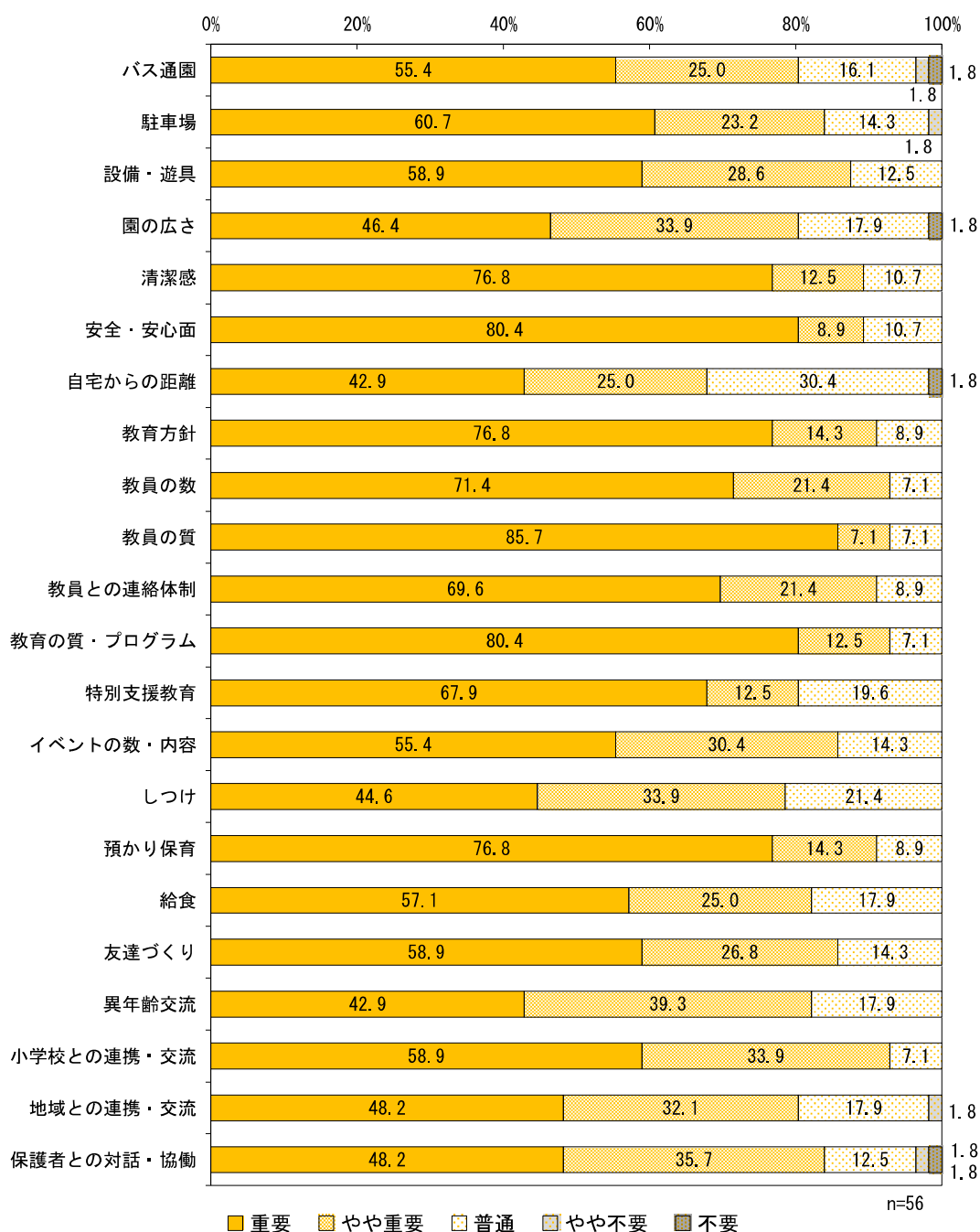
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「給食」の割合が 51.7%となっています。

■ 通われている園の満足度【生駒台幼稚園】



生駒台幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うための重要な項目のうち、「重要」では「教員の質」の割合が 85.7%と最も高くなっており、次いで「安全・安心面」「教育の質・プログラム」の割合が 80.4%となっています。また、「重要」（重要＋やや重要）では「教員の数」「教員の質」「教育の質・プログラム」「小学校との連携・交流」の割合が高くなっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【生駒台幼稚園】

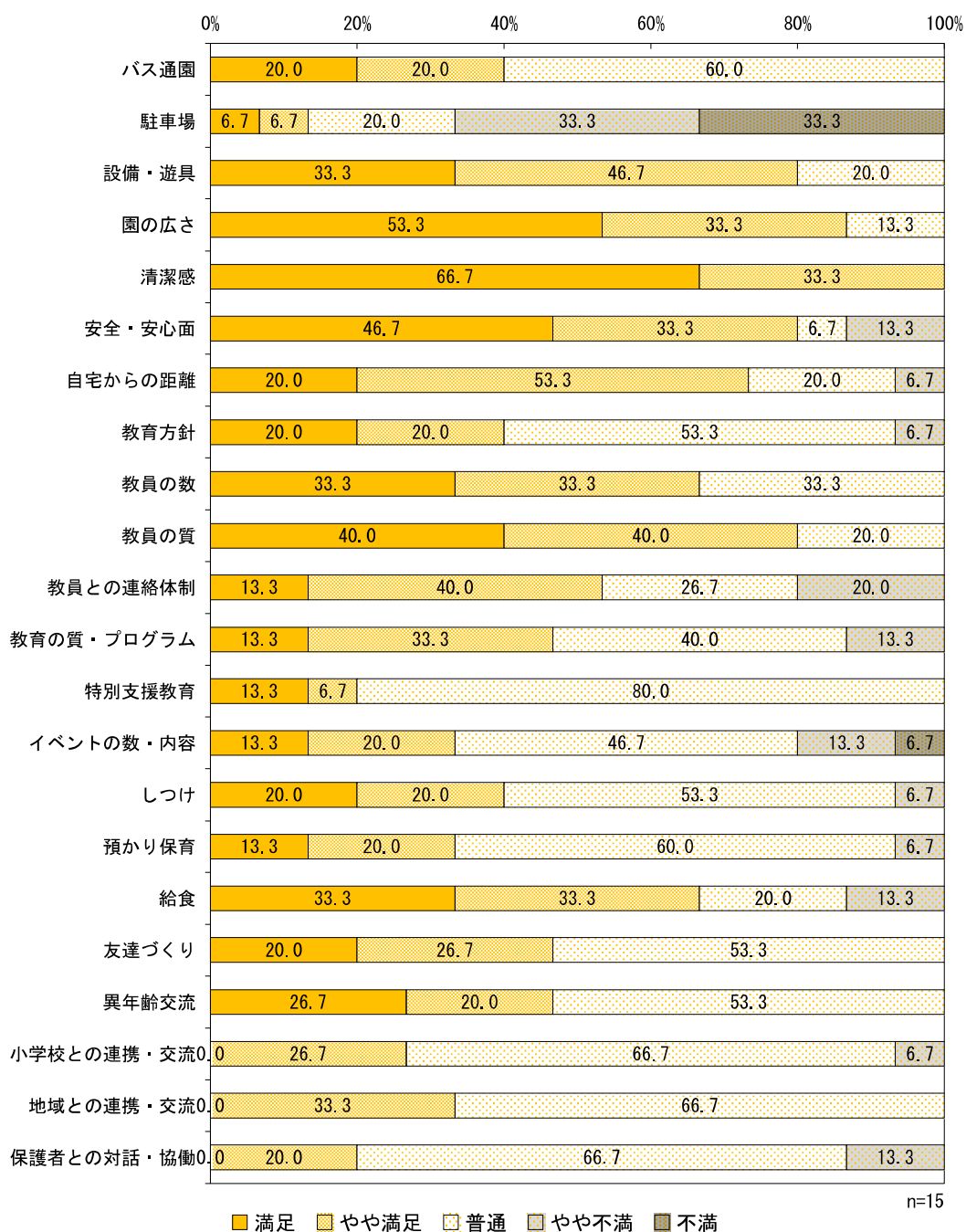


(6) 南幼稚園

南幼稚園に通う児童の保護者の満足度は「満足」（満足＋やや満足）について、「清潔感」の割合が100.0%と最も高く、次いで「園の広さ」の割合が86.6%となっています。

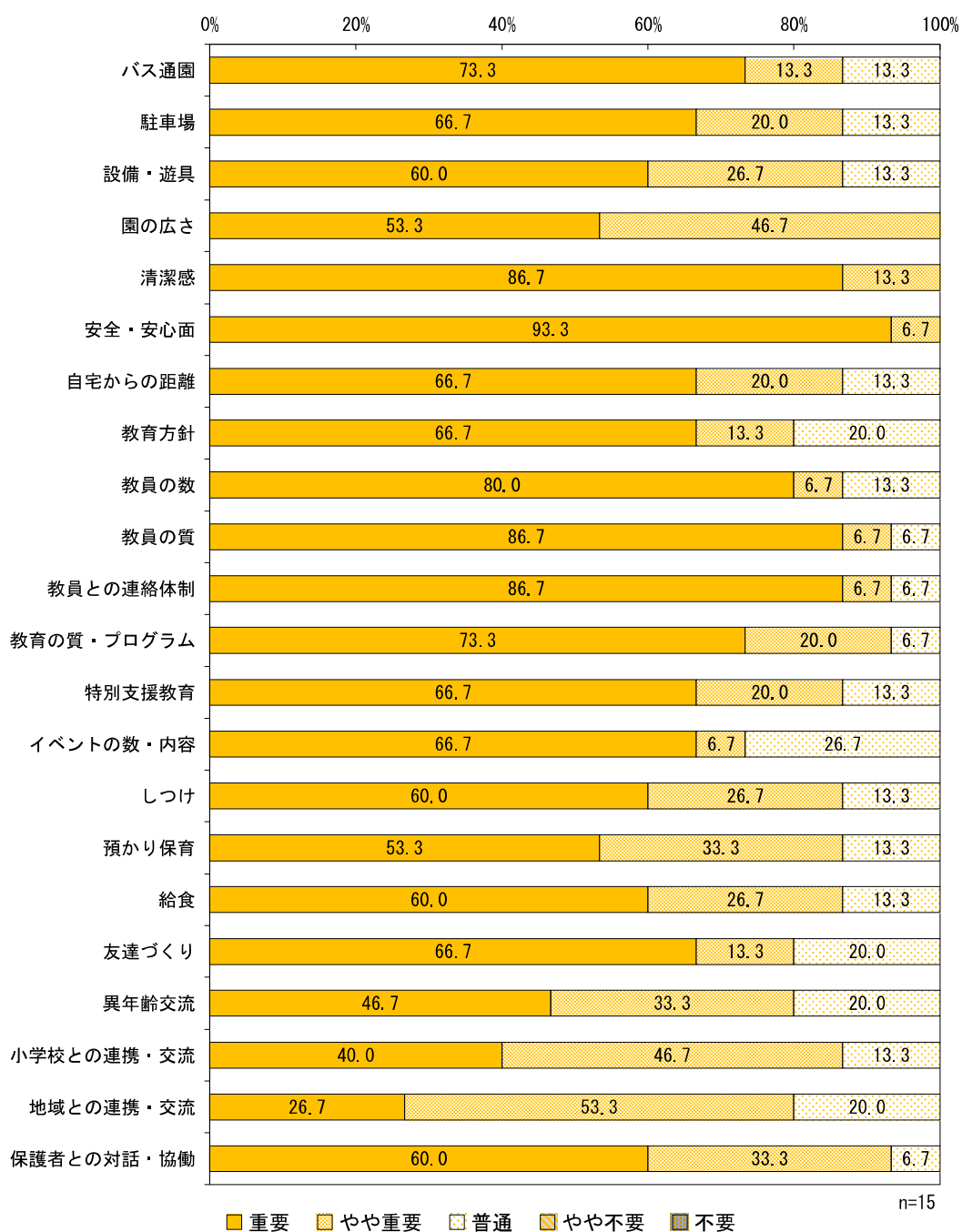
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「駐車場」の割合が66.6%と最も高く、次いで「教員との連絡体制」「イベントの数・内容」の割合が20.0%となっています。

■ 通われている園の満足度【南幼稚園】



南幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うための重要な項目のうち、「重要」では「安全・安心面」の割合が 93.3%と最も高く、次いで「清潔感」「教員の質」「教員との連絡体制」の割合が 86.7%となっています。また、「重要」（重要＋やや重要）では「園の広さ」「清潔感」「安全・安心面」の割合が 100.0%と高くなっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【南幼稚園】

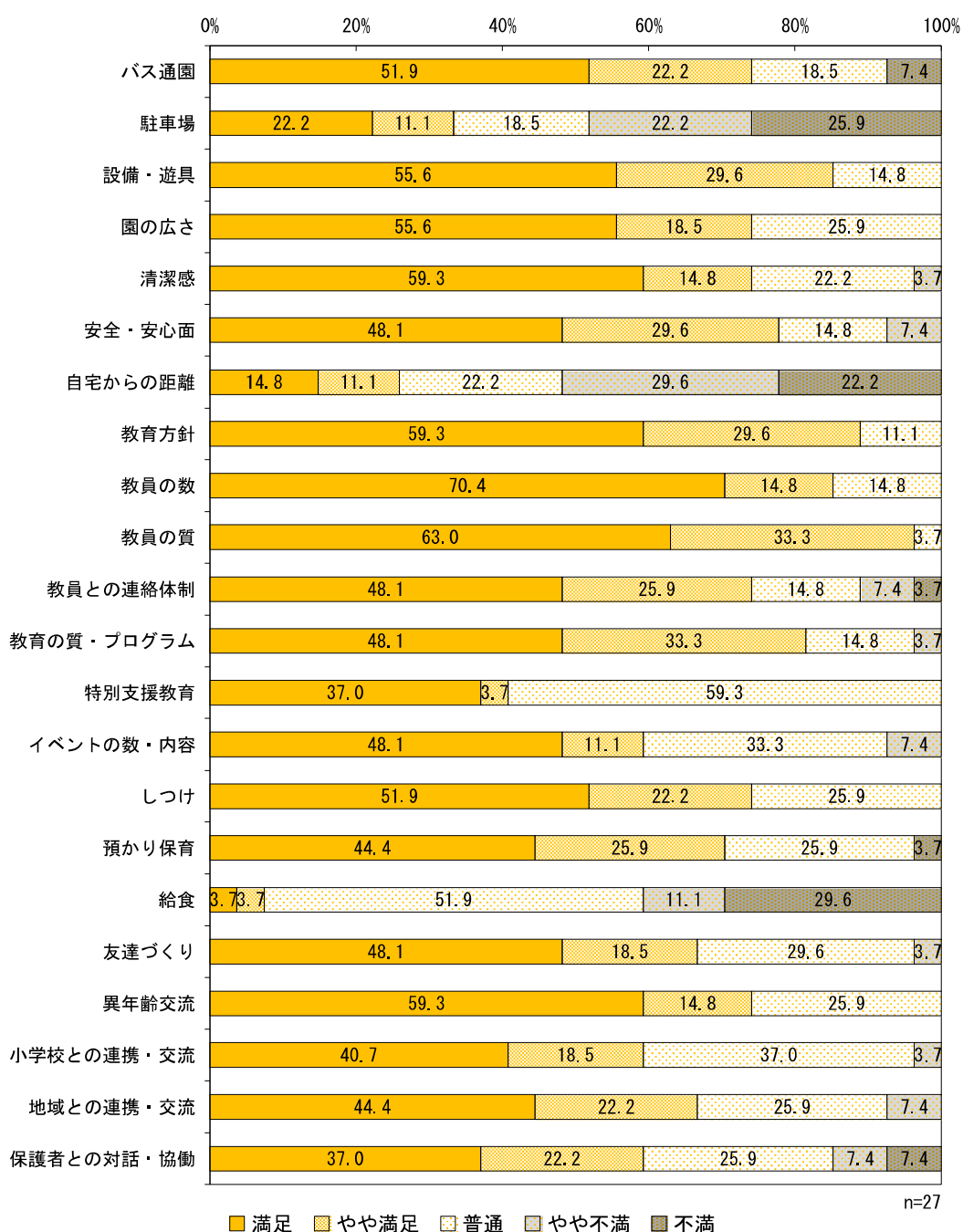


(7) 壱分幼稚園

壱分幼稚園に通う児童の保護者の現在の満足度のうち「満足」（満足＋やや満足）について、「教員の質」の割合が96.3%と最も高く、次いで「教育方針」の割合が88.9%、「設備・遊具」「教員の数」の割合が85.2%となっています。

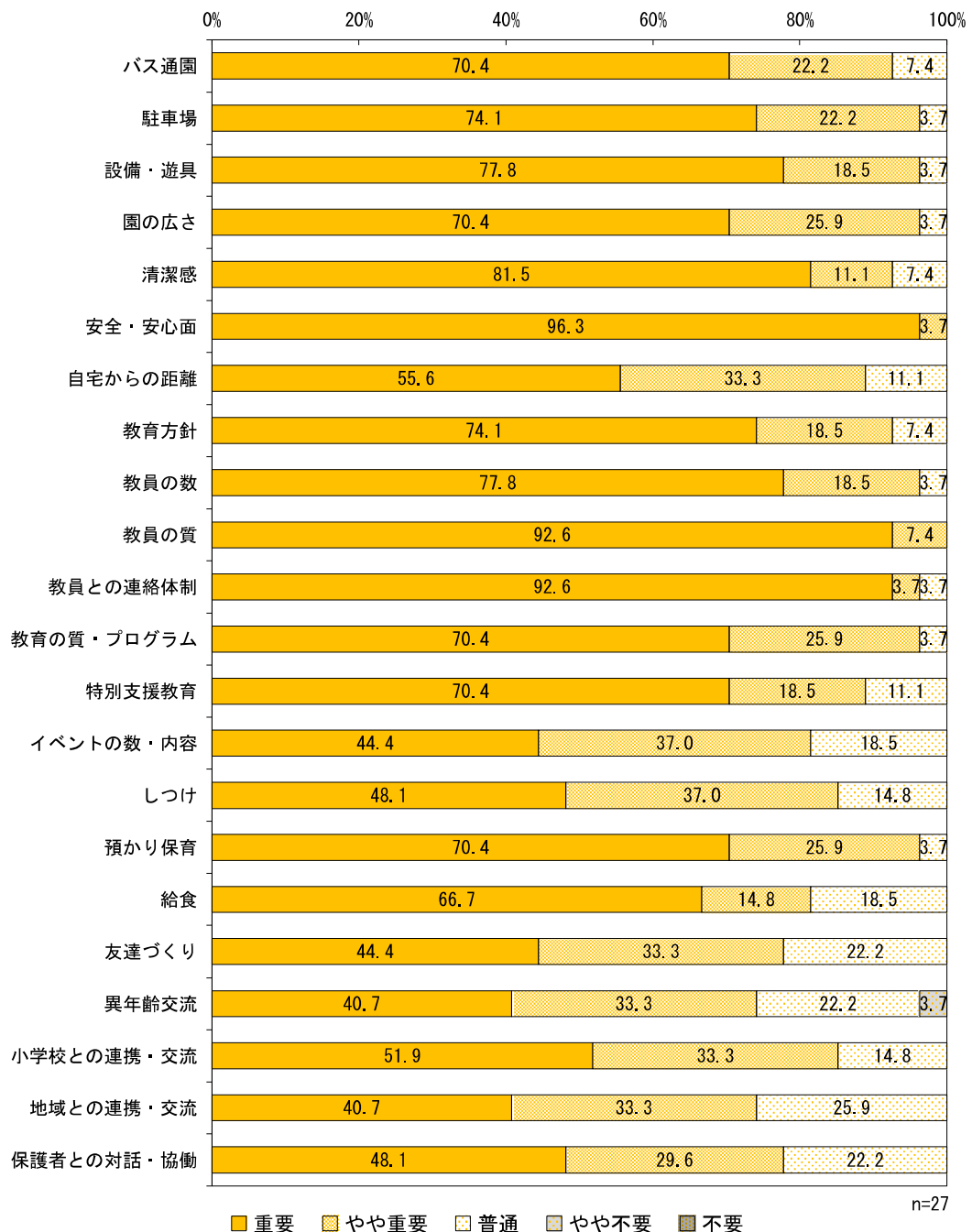
その一方で「不満」（不満＋やや不満）については、「自宅からの距離」の割合が51.8%と最も高く、次いで「駐車場」の割合が48.1%、「給食」の割合が40.7%となっています。

■ 通われている園の満足度【壱分幼稚園】



壱分幼稚園に通う児童の保護者が考える幼稚園が将来にわたり持続的な運営を行うための重要な項目のうち、「重要」では「安全・安心面」の割合が 96.3%と最も高くなっており、次いで「教員の質」「教員との連絡体制」の割合が 92.6%となっています。また、「重要」（重要＋やや重要）では「安全・安心面」「教員の質」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「駐車場」「設備・遊具」「園の広さ」「教員の数」「教員との連絡体制」「教育の質・プログラム」「預かり保育」の割合が 96.3%となっています。

■ 幼稚園の持続的な運営を行うための重要度【壱分幼稚園】

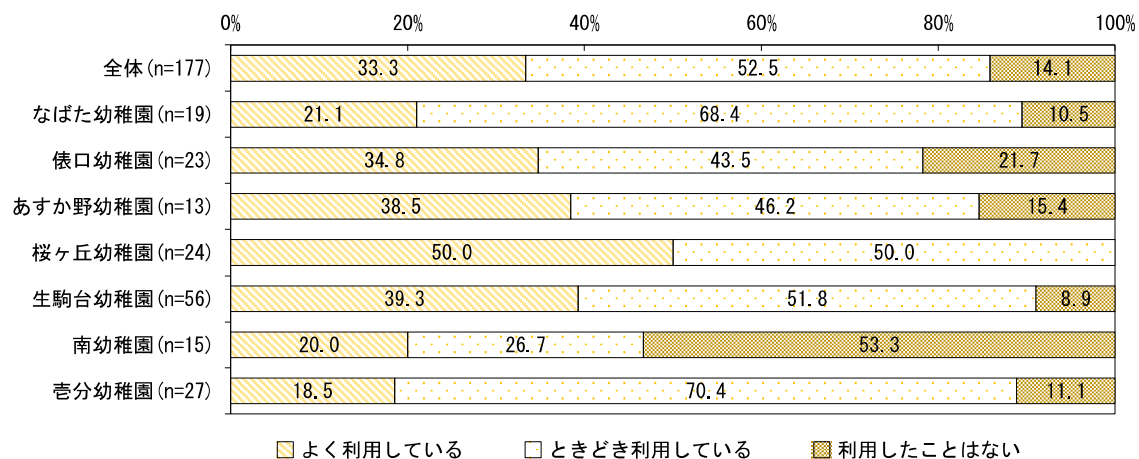


預かり保育の利用状況

預かり保育の利用状況について、全体では「ときどき利用している」の割合が 52.5%で、「よく利用している」の割合と合わせると、8 割以上の方が利用しています。

幼稚園別でみると、南幼稚園では「利用したことがない」の割合が 53.3%で、全体と比べて高くなっています。

■ 預かり保育の利用状況



預かり保育に対する要望

預かり保育に対する要望について、「利用料の負担軽減」の割合が 46.9%と最も高く、「特になし」の割合が 29.4%、「長期休養中（夏・冬・春休み）の実施」の割合が 24.3%、「預かり時間の延長」の割合が 20.9%となっています。

■ 預かり保育に対する要望

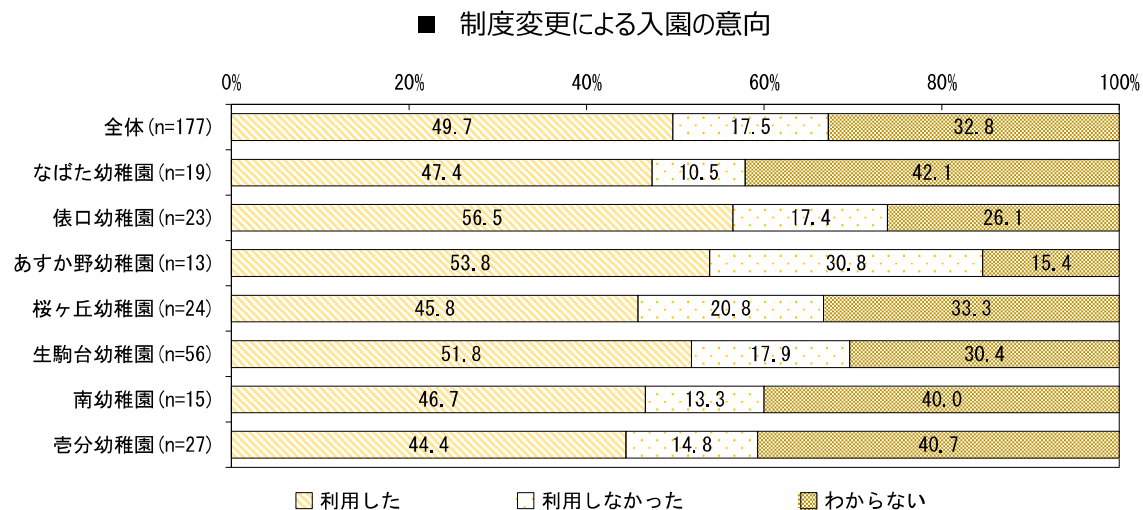
	合計	預かり時間 の延長	長期休養中 （夏・冬・春 休み）の実施	土曜日の実 施	利用料の負 担軽減	特になし	その他	無回答
全体	177	20.9	24.3	11.3	46.9	29.4	3.4	0.0
なばた幼稚園	19	31.6	21.1	5.3	42.1	31.6	5.3	0.0
俵口幼稚園	23	17.4	13.0	17.4	47.8	30.4	4.3	0.0
あすか野幼稚園	13	30.8	15.4	7.7	53.8	23.1	7.7	0.0
桜ヶ丘幼稚園	24	16.7	41.7	25.0	50.0	16.7	0.0	0.0
生駒台幼稚園	56	19.6	26.8	3.6	48.2	32.1	1.8	0.0
南幼稚園	15	13.3	0.0	26.7	53.3	26.7	6.7	0.0
壱分幼稚園	27	22.2	33.3	7.4	37.0	37.0	3.7	0.0

※無回答は0人でした。

満3歳の翌月から入園ができる制度の利用意向

満3歳の翌月から入園できる制度があった場合の利用状況については、全体では「利用した」の割合が49.7%、「利用しなかった」の割合が17.5%となっています。

幼稚園別でも、どの園も「利用した」の割合が約50%と最も高くなっています。



公立幼稚園にあればいいサービス

公立幼稚園にあればいいと思うサービスについて、全体では「お弁当や給食の提供がある」の割合が80.2%と最も高くなっています。

幼稚園別でみると、南幼稚園では「駐車場を利用して送迎できる」の割合が73.3%と最も高く、他園では「お弁当や給食の提供がある」の割合が高くなっています。

■ 公立幼稚園にあればいいサービス

	合計	受け入れ開始時間が早い	お弁当や給食の提供がある	預かり保育等により、長時間の教育・保育が受けられる	長期休暇期間中の教育・保育が受けられる	駐車場を利用して送迎できる	特になし	その他
全体	177	11.9	80.2	20.3	16.9	54.8	1.1	0.6
なばた幼稚園	19	15.8	100.0	10.5	10.5	36.8	0.0	0.0
俵口幼稚園	23	17.4	91.3	8.7	4.3	69.6	0.0	0.0
あすか野幼稚園	13	7.7	76.9	46.2	7.7	61.5	0.0	0.0
桜ヶ丘幼稚園	24	12.5	75.0	20.8	33.3	50.0	0.0	0.0
生駒台幼稚園	56	14.3	78.6	17.9	16.1	55.4	1.8	0.0
南幼稚園	15	0.0	46.7	40.0	20.0	73.3	0.0	0.0
壱分幼稚園	27	7.4	85.2	18.5	22.2	44.4	3.7	3.7

※無回答は0人でした。

公立幼稚園のいいところ

実際に公立幼稚園を利用されている立場から思う公立幼稚園のいいところについて、全体では、「参観や行事などを通して園での様子がよくわかる」の割合が 66.1%で最も高く、次いで「適正な規模での教育・保育が受けられる」の割合が 65.0%、「地域との交流がある」の割合が 46.3%となっています。

幼稚園別でみると、生駒台幼稚園と南幼稚園では「適正な規模での教育・保育が受けられる」の割合が、あすか野幼稚園では「質の高い教育・保育が受けられる」がそれぞれ最も高く、他園では「参観や行事などを通して園での様子がよくわかる」の割合が高くなっています。

■ 公立幼稚園のいいところ

	合計	適正な規模での教育・保育が受けられる	質の高い教育・保育が受けられる	異年齢の子と交流できる	参観や行事などを通して園での様子がよくわかる	地域との交流がある	子育ての相談体制が充実している	保護者の日中の保育の状況が変わっても継続して利用できる	わからない	その他
全体	177	65.0	39.5	38.4	66.1	46.3	20.3	39.0	5.1	2.8
なばた幼稚園	19	68.4	36.8	52.6	78.9	73.7	26.3	57.9	0.0	0.0
俵口幼稚園	23	52.2	30.4	39.1	73.9	47.8	17.4	39.1	4.3	8.7
あすか野幼稚園	13	69.2	76.9	38.5	46.2	30.8	23.1	23.1	7.7	0.0
桜ヶ丘幼稚園	24	58.3	37.5	29.2	62.5	20.8	20.8	37.5	12.5	4.2
生駒台幼稚園	56	75.0	48.2	37.5	69.6	53.6	17.9	39.3	0.0	1.8
南幼稚園	15	46.7	0.0	40.0	33.3	20.0	6.7	33.3	26.7	0.0
壱分幼稚園	27	66.7	37.0	37.0	74.1	55.6	29.6	37.0	0.0	3.7

※無回答は0人でした。

公立幼稚園に改善が必要と思うところ

実際に公立幼稚園を利用されている立場から思う公立幼稚園に改善が必要と思うところについて、全体では、「駐車場がなく、徒歩や自転車の通園が負担に感じる」の割合が63.8%と最も高く、次いで「親子イベントやPTA活動等、保護者の負担が多い」の割合が45.8%、「受入れ時間が短い」の割合が43.5%となっています。

幼稚園別でみると、あすか野幼稚園と桜ヶ丘幼稚園では「親子イベントやPTA活動等、保護者の負担が多い」の割合が、壱分幼稚園では「受入れ時間が短い」の割合が最も高くなっています。

■ 公立幼稚園の改善が必要と思うところ

	合計	親子イベントやPTA活動等、保護者の負担が多い	家庭の状況により、無償化になる対象に違いがあり不公平に感じる	カリキュラムが多く、こどもにとって慌ただしく感じる	駐車場がなく、徒歩や自転車の通園が負担に感じる	受入れ時間が短い	わからない	その他
全体	177	45.8	14.7	0.6	63.8	43.5	9.6	6.2
なばた幼稚園	19	52.6	0.0	0.0	63.2	57.9	15.8	5.3
俵口幼稚園	23	56.5	13.0	0.0	82.6	39.1	4.3	4.3
あすか野幼稚園	13	76.9	23.1	0.0	76.9	38.5	0.0	7.7
桜ヶ丘幼稚園	24	70.8	20.8	4.2	62.5	33.3	8.3	12.5
生駒台幼稚園	56	35.7	14.3	0.0	62.5	44.6	8.9	7.1
南幼稚園	15	20.0	26.7	0.0	66.7	26.7	20.0	0.0
壱分幼稚園	27	29.6	11.1	0.0	44.4	55.6	11.1	3.7

※無回答は0人でした。